

# 平成17年度当初予算

## 主 要 事 業

福 井 県

## 目 次

### 主 要 事 業


<b>I 元気な産業</b>	1
1 経済対策の緊急発動	1
◇ 経済対策の発動	1
2 ものづくり・新産業創出	3
◇ 新技術開発による産業の高付加価値化	3
◇ やる気のある企業や創業に対する強力なバックアップ	5
◇ 人づくり	9
◇ 新たな販路開拓	9
◇ 先端産業の誘致	10
3 福井の豊かさを支える農林水産業	12
◇ 農業	12
◇ 林業	17
◇ 水産業	19
<b>II 元気な社会</b>	21
4 女性の元気が福井の元気	21
◇ 女性の持つ優れた感性を県政に反映	21
◇ 女性の起業や経営革新を支援	21
◇ 子育てと自己実現のための活動が両立できる環境づくり	21
5 未来を託す人づくり	26
6 生き生きやさしい福井づくり	30
◇ 元気百歳プロジェクト	30
◇ 一人ひとりの命が輝く福祉	31
<b>III 元気な県土</b>	37
7 原子力は県民の立場に立って	37
8 福井は列島のまん中-より近くより便利に-	37
<b>IV 元気な県政</b>	41
9 新しい福井県政府の樹立	41
◇ フレンドシップ	41
◇ パートナーシップ	42
10 夢あるふるさとづくり	43
◇ ふくいブランドの創造	43
◇ ビジット“ふくい”の推進	45
◇ 公共施設等の利便性向上	47
◇ 環境保全	48
◇ まちづくり	50
◇ 安全・安心	51
◇ 文化	54
◇ IT	55
<b>新世紀政策推進枠事業</b>	57
<b>福井豪雨災害対策事業</b>	58
総括	58
1 被災を受けた方々の生活支援・住宅支援	59
2 産業の再生	60
3 社会基盤の早期復旧	60
4 再度災害の防止	60
<b>職員提案型予算外事業</b>	63


---

---

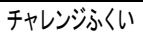
## ～ 事業内容の見方について ～

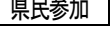
### 1. 事業名称の先頭に


「」とあるのは、17年度の新規事業です。

「」とあるのは、17年度において事業内容の拡充を行った事業です。

### 2. 事業名称の後に

 とあるのは、「挑<sup>チャレンジ</sup>戦ふくいー福井県経済社会活性化プランー」を具体化するために実施する事業です。

 とあるのは、広く意見を募集し、県民の皆さまに予算編成過程に参加していただいた事業です。

 とあるのは、本県等の提案により用途が弾力化した国の電源交付金・補助金を有効に活用して実施する事業です。

# I 元気な産業

## 1 経済対策の緊急発動

### ◇経済対策の発動

#### 〈経済社会活性化プランの推進〉

予算額  
(単位：千円)

#### 福井県経済社会活性化戦略会議事業（総務部）

2,760

経済界・労働界・学識経験者で構成する「福井県経済社会活性化戦略会議」において、平成15年12月に策定した「挑戦ふくいー福井県経済社会活性化プランー」の推進状況等について、意見交換を行います。

委員数 10名程度

#### 〈15,000人の雇用創出〉

#### 福井県労働状況調査事業（総務部）

21,958

雇用創出プラン等各種雇用施策の立案等に活用するため、四半期毎の就業状況を調査します。

調査期日 毎月末日

調査対象 県内に居住する15歳以上の世帯員（約2,100人）

調査内容 完全失業率等の就業状態、フリーターの実態

#### 若者就職支援センター（ジョブカフェ）運営事業（産業労働部） チャレンジふくい

17,126

若者のための就職に関する悩み事の相談から、求人情報の提供、国の公共職業安定所と連携した就職のあっせんまで、若者の就職をワンストップでサポートします。

#### ⑧ Uターン情報センター等機能強化事業（産業労働部） チャレンジふくい 県民参加

4,600

平成17年4月から、福井県Uターン情報センターを県民会館から福井商工会議所ビルに移転し、同ビルにあるジョブカフェとの連携を図りながら、ワンストップサービス化を実現して機能強化を図ります。

事業内容 無料職業紹介業務の実施

ホームページの機能強化（インターネット上での求職・求人の登録）

#### 高校生就職支援事業（教育庁） チャレンジふくい

8,500

高校生の職業選択能力の育成や就労意識の向上を行うことにより、就職後の早期離職の防止を図ります。

対象校 職業学科・総合学科設置校18校

事業内容 地域の事業主等による講演会

民間企業への就業体験

就職企業への教員訪問 等

<p><b>離転職者等能力開発推進事業（デュアルシステム分）（産業労働部）</b> <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">チャレンジふくい</span></p> <p>産業技術専門学院において、講義と企業実習が一体となった職業訓練（デュアルシステム）を実施し、企業の即戦力ニーズに対応できる人材を育成します。</p>	5,292
<p><b>再就職支援セミナー・早期就職面接会開催事業（産業労働部）</b> <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">チャレンジふくい</span></p> <p>雇用のミスマッチの解消を図り早期就職を促進するため、中高年者を対象として、再就職支援セミナーと就職面接会を開催します。</p> <p>開催場所 県内6会場（延べ500人参加予定）</p>	3,150
<p><b>緊急地域雇用促進奨励金（産業労働部）</b> <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">チャレンジふくい</span></p> <p>緊急地域雇用創出特別基金事業の雇用者を、同事業の受託事業主が正式雇用した場合、奨励金を支給することにより、短期間の臨時的雇用を安定した継続雇用につなげていきます。</p> <p>事業期間 15年度～17年度</p> <p>奨励金 一般労働者 1人当たり30万円 短時間労働者 1人当たり15万円</p>	7,800
<p><b>⑧ コールセンター産業人材育成事業（産業労働部）</b> <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">チャレンジふくい</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">電源</span></p> <p>誘致したコールセンターへの就業促進と新たな誘致につなげるため、民間業者に委託して、学生や離職者等を対象に研修を実施します。</p> <p>事業内容 コールセンターへの就職セミナー 年 7回（延べ350人受講予定） コールセンター入門講座 年 10回（延べ200人受講予定）</p>	10,600

## 2 ものづくり・新産業創出

### ◇新技術開発による産業の高付加価値化

#### 〈産学官共同研究企業数を倍増〉

福井県産力強化事業（産業労働部） チャレンジふくい 2,000

本県ものづくり産業の競争力を強化するため、県内の産学官の代表者で構成する「福井県産力戦略本部」が中心となり、県内の企業、大学、産業支援機関および行政が足なみをそろえ、最先端技術開発や産学官共同研究を推進します。

元気企業創出産学官パートナーシップ推進事業（産業労働部） チャレンジふくい 2,700

県が年間200社以上の企業を訪問し、共同研究の提案を行うとともに、講演会、発表会を実施することにより、産学官共同研究企業数の倍増を目指します。

事業期間 15年度～17年度

ふくい産学官共同研究推進総合事業（産業労働部） チャレンジふくい 89,300

先端的な技術開発を行う産学官共同研究に加えて、県内個々の企業や企業グループが大学等と共同で取り組む幅広い分野での研究に対し補助を行うことで、新技術の開発を促進します。

重点5分野での戦略的な産学官共同研究（2件）

実施主体 産業支援センター

補助率 国1/2、県1/2（補助限度額 900万円）

企業が中心となっていく産学官共同研究

実施主体 県内企業を含む産学官共同研究グループ（14件程度）

補助率 1/2（補助限度額 500万円）

工業技術センターと企業等との共同研究（13件程度）

事業内容 企業ニーズに対応した共同研究の実施

工業技術センターが持つ技術シーズの製品化共同研究の実施

⑧知的財産セミナー開催事業（産業労働部） チャレンジふくい 2,000

特許出願件数の増加を図るため、県内企業の経営者や実務者等を対象としたセミナーを開催します。

事業期間 17年度～19年度

開催回数 年3回（延べ300人参加予定）

⑨ふくい産力強化国際特許出願経費補助事業（産業労働部） チャレンジふくい 12,000

県内企業の国際的な事業展開を支援するため、優れた技術を有する県内企業等（6件程度）に対して、国際特許出願に要する経費の一部を助成します。

事業期間 17年度～19年度

補助率 1/2（補助限度額 150万円）

<p>⑩産学官連携による「メイドインふくいソフト」開発支援事業（産業労働部） <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">チャレンジふくい</span></p> <p>産学官連携による福井発の独自のソフトの研究、開発を行うグループに対して支援を行い、本県IT関連産業の活性化を図ります。</p> <p>事業期間 16年度～18年度</p> <p>実施主体 産学官連携による研究グループ（10件程度） 新たに開発グループ（2件程度）を追加</p> <p>補助率 1/2（補助限度額 研究グループ30万円、開発グループ500万円）</p>	16,400
--	--------

〈最先端技術開発を通じて地域産業を活性化〉

<p>工業技術センター次世代ものづくり技術研究事業（産業労働部） <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">チャレンジふくい</span></p> <p>本県が有する産業活性化に有望な「炭素繊維開繊技術」「難加工金属材料加工技術」「レーザ技術」をもとに、先端的ものづくり技術の研究開発を行います。</p> <p>事業期間 16年度～18年度</p>	93,241
--	--------

<p>地域科学技術振興研究事業（産業労働部）</p> <p>本県で成長が期待される分野を中心に、複数の試験研究機関の連携による研究事業を実施することにより、本県の科学技術の振興を図ります。</p> <p>事業内容 継続研究 29テーマ（カーボンナノチューブの量産技術研究 など） 新規研究 4テーマ（バフンウニの資源回復対策の研究 など）</p>	322,214
---	---------

<p>早期事業化促進技術開発補助金（産業労働部） <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">チャレンジふくい</span></p> <p>産学官共同研究の成果や特許等を活用し、3年以内に事業化を見込むことのできる実用化技術開発に要する経費の一部を助成し、新製品の開発および早期事業化展開を促進します。</p> <p>事業期間 16年度～18年度</p> <p>実施主体 県内企業または企業グループ（7件程度）</p> <p>補助率 1/2（補助限度額 500万円）</p>	35,200
--	--------

<p>先端技術事業化アドバイザー事業（産業労働部） <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">チャレンジふくい</span></p> <p>世界的な技術シーズ・ニーズ等に精通した研究者や企業等の有識者をアドバイザーとして委嘱し、研究開発や市場動向に関する情報交換や助言・提言を受けることにより、先端技術の早期事業化を促進します。</p> <p>事業期間 16年度～18年度</p>	2,150
--	-------

〈付加価値の高い新商品の開発販売を支援〉

<p>商品ブランド力育成による新市場開拓事業（産業労働部） <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">チャレンジふくい</span></p> <p>商品を効果的にPRするロゴやパッケージなどを、商品開発の専門家の指導によって見直すことで、類似商品との差別化を図り、市場での競争力を高めていきます。</p> <p>事業期間 16年度～18年度</p> <p>実施主体 商品ブランドの確立に意欲的な県内中小製造事業者（7件程度）</p> <p>補助率 1/2（補助限度額 100万円）</p>	8,000
--	-------

**新商品創出デザイン活用普及事業（産業労働部）** チャレンジふくい 11,800

デザインを活用した付加価値の高い新商品開発に取り組む県内企業に対して、デザイナーを仲介し、その経費を助成します。

事業期間 15年度～18年度

実施主体 デザインの優れた新商品開発に意欲的な中小企業（5件程度）

補助率 1/2（補助限度額 180万円）

**⑧繊維産業自立化支援事業（産業労働部）** チャレンジふくい 80,160

中小繊維製造事業者等が、これまでの下請け賃加工形態から脱却し、自ら商品企画・開発等を行い、市場に近いところで自ら販売を行うなどの自立化に向けた取組みに対して助成します。

事業期間 16年度～19年度

実施主体 県内繊維製造中小企業（11件程度）

新たに繊維関連団体等（4件程度）を追加

補助率 1/2（補助限度額 500万円、繊維関連団体は1,000万円）

**⑨ファッション新市場開拓事業（産業労働部）** チャレンジふくい 県民参加 6,000

YOSAKOI祭の参加チームの衣装に着目し、本県繊維製品の優秀さを全国にPRするとともに、新市場開拓を推進します。

事業期間 17年度～19年度

実施主体 ふくいファッションイベント実行委員会（県、5市、繊維団体で構成）

事業内容 全国のYOSAKOIチームから衣装のデザイン画を募集

入賞20作品について県内デザイナーと企業が衣装制作

入賞20チームをモデルとした公開審査会を開催

**⑩伝統工芸品産業企業活性化支援事業（産業労働部）** チャレンジふくい 県民参加 5,000

本県の伝統工芸品産業の活性化を図るため、企業または企業グループが実施する大都市圏での展示会開催などの販路開拓事業や、市場ニーズ調査事業に対して支援します。

事業期間 17年度～19年度

実施主体 伝統工芸品を製造する中小企業または中小企業グループ（5件程度）

補助率 1/2（補助限度額 100万円）

## ◇やる気のある企業や創業に対する強力なバックアップ

### 〈5000の新規創業を達成〉

**新規創業支援事業（産業労働部）** チャレンジふくい 11,236

創業予定者に対して、産業支援センターの新事業コーディネーター等が集中的にアドバイスを行い、意欲ある創業予定者の事業化を支援します。

**創業支援体制連携強化事業（産業労働部）** チャレンジふくい 2,833

創業相談窓口を土日開設するなど、創業支援強化に向けた商工会議所の新たな取組みに対して助成を行い、新規創業を促進します。

事業期間 16年度～18年度

実施主体 福井県商工会議所連合会

補助率 1/2



地域助け合いビジネス起業化支援事業（産業労働部） チャレンジふくい 2,254

地域住民が中心となって介護や保育など地域の課題をビジネスとして解決しようとする取組みを支援し、地域の活性化とサービス産業の振興を図ります。

事業期間 16年度～18年度  
実施主体 県、産業支援センター

わくわく商店街づくり促進事業（産業労働部） チャレンジふくい 1,290

個々の商店が魅力的な商品やサービスを提供する「1店1品運動」の取組みを促進し、商店街の活性化と県内商業者の競争力強化を図ります。

事業期間 16年度～18年度  
実施主体 商店街振興組合等  
補助率 国1/2 県1/2

⑧商店街魅力向上支援事業（産業労働部） チャレンジふくい 県民参加 400,000

県の無利子貸付金により、商店街の元気を取り戻すための基金を産業支援センターにおいて造成し、市町村とも連携しながら実効性のある商店街活動を支援します。

助成対象事業 空き店舗対策、商店街ブランド商品開発など  
補助率 1/2（商品開発、店舗改装等は1/3）  
補助限度額 1事業当たり300万円  
基金積立金 17年度 4億円、18年度 11億円

先進的サービス業成功事例提供事業（産業労働部） チャレンジふくい 2,540

県内外の先進的なサービス業に関する成功事例や事業手法に関する情報を県内に広く提供し、サービス業の新たな事業展開を支援します。

事業期間 16年度～18年度  
実施主体 産業支援センター

⑧県立図書館サービス向上事業（教育庁） 1,330

起業を目指す人などを支援するために、県立図書館内に「産業支援コーナー」を設置し、産業関連の図書・雑誌を中心に分野別に整理・集約するとともに、無料でビジネス情報の検索が可能な商用データベースを新たに導入します。

〈産業支援センターの充実〉

産業支援センタープロジェクトマネージャー等設置事業（産業労働部） チャレンジふくい 23,977

専門的見地から企業経営に助言を行い、企業の成長を支援するプロジェクトマネージャー等を、産業支援センターに設置します。

⑧産業支援機関機能強化事業（産業労働部） チャレンジふくい 17,266

県内企業に対するサービスを一層強化するため、(財)福井県産業支援センター、(財)福井県中小企業産業大学校および(財)福井県デザインセンターを統合し、情報ネットワークの整備等を行います。

## 〈制度融資による創業支援〉

### 開業特別支援資金貸付金（産業労働部） チャレンジふくい 250,000

創業予定者等に対して無担保で、第三者保証人を要せず、かつ、大規模な資金を融資します。また、産業支援センターが事業計画の策定支援や経営全般にわたるフォローアップを行い、新規創業者の前向きな取組みを強力に支援します。

貸付限度額 1億円  
資金使途 設備資金および運転資金  
融資期間 10年以内（据置3年以内）  
保証料 全額補給  
貸付枠 15億円

### 意欲ある企業支援資金貸付金（産業労働部） チャレンジふくい 250,000

新たな分野や販路の開拓などにチャレンジする中小企業に対する支援の強化を図るため、創業後1年以上を経過した独自性とやる気のある中小企業者に対して、無担保で融資します。

貸付限度額 5,000万円  
資金使途 事業計画に基づく新規事業資金  
融資期間 7年以内（据置1年以内）  
貸付枠 10億円

### 産業活性化支援資金貸付金（地域助け合いビジネス支援分）（産業労働部） チャレンジふくい 120,000

地域助け合いビジネスの事業展開に必要な資金を、中小企業者以外のグループ等に融資し、新たな雇用機会の創出、地域経済の活性化を支援します。

貸付限度額 3,000万円  
資金使途 設備資金および運転資金  
融資期間 設備資金 10年以内（据置1年以内）  
運転資金 7年以内（据置1年以内）  
保証料 1/2補給  
貸付枠 3億円

## 〈ふくい南青山291の機能拡充〉

### ⑧福井県ビジネス支援センター運営事業（産業労働部） チャレンジふくい 45,412

「ふくい南青山291」の運営業務を、公募により民間事業者へ委託し、業務の効率化を図ります。

## 〈眼鏡産地100周年〉

### ⑨眼鏡産地100周年記念事業（産業労働部） チャレンジふくい 14,000

本県で眼鏡枠の生産が始まってから100周年を迎えることを記念し、眼鏡産地「福井」を県内外にPRします。

眼鏡産地100周年ギャラリー（歴史博物館で開催）  
実施主体 県  
眼鏡産業100年のあゆみ展（めがね会館で開催）  
100周年アニバーサリーコンペ、眼鏡小売店研修・交流等  
実施主体（社）福井県眼鏡協会  
補助率 1/2（補助限度額 700万円）

## 〈県産品の売込み〉

- 福井発「都市圏朝市」支援事業（農林水産部）** チャレンジふくい 2,450  
都市圏において県産農林水産物の販売活動を行う「ふくい朝市」を定期的に行い、都市部の消費者ニーズを踏まえた生産対策と継続的な販路開拓を図ることを支援します。  
事業期間 16年度～17年度  
事業内容 大阪府内の量販店等において開催（年3回）  
生産者等の出展に対する支援
- ㊦ふくいの「食」インターネット通信販売実践事業（農林水産部）** チャレンジふくい 県民参加 4,650  
インターネットによる情報発信および販路開拓に意欲のある生産者等を支援するため、インターネット物産展を開催します。  
事業期間 17年度～19年度  
事業内容 インターネット通信販売研修会の開催（嶺北、嶺南各3回）  
インターネット物産展の開催（2回）
- ㊦'05食博覧会・大阪出展事業（農林水産部）** チャレンジふくい 5,850  
大阪で4年ごとに開催される「'05食博覧会・大阪」に県が出展し、本県が誇る「越前おろしそば」を主とした県特産品の販売と併せて、「健康長寿福井」のPRを行います。  
開催期間 4月28日～5月8日  
開催場所 インテックス大阪  
事業内容 越前おろしそばの手打ち実演・調理・飲食販売  
パネル展示等による越前おろしそばの紹介  
11月開催予定の「日本そば博覧会」への誘客PR
- ㊦「越前おろしそば」情報発信事業（農林水産部）** チャレンジふくい 8,000  
「越前おろしそば」のブランドを確立するため、日本そば博覧会の開催経費等に対し助成します。  
実施主体 福井そばルネッサンス推進実行委員会  
事業内容 日本そば博覧会開催（11月5日～7日 県産業会館）  
福井手打ちそば入門講座（「ふくい南青山291」で開催）
- ㊦新品種「イクヒカリ」販売推進事業（農林水産部）** チャレンジふくい 県民参加 11,000  
平成16年度に品種登録された新品種「イクヒカリ」の販売促進を図るため、小売業者に対し試食販売等の経費を助成します。  
事業期間 17年度  
実施主体 県、経済連  
補助率 1/2
- 大都市圏販路開拓強化事業（産業労働部）** チャレンジふくい 9,414  
大都市圏の企業等に人脈を持つ本県出身者等をアドバイザーに委嘱し、県内中小企業のための受注情報収集や新たな取引先の開拓を行い、都市圏での販路の拡大を図ります。  
実施主体 産業支援センター

<p>⑧ベンチャー企業等へのチャレンジ発注推進事業（産業労働部） <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">チャレンジふくい</span></p> <p>ベンチャー企業や経営革新を目指す県内中小企業者の開発した製品等の購入を促進するとともに、必要なものについては県自らが購入し、受注企業の信用力を高めるなど、販路開拓を支援します。</p>	352
---	-----

## ◇人づくり

### 〈ビジネススクールの開設〉

<p>県立大学ビジネススクール開設準備事業（総務部） <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">チャレンジふくい</span></p> <p>平成18年度に県立大学にビジネススクールを開設するための準備を行います。 事業内容 開設等準備会の開催、入学者募集・選抜、広報等</p>	5,500
---	-------

<p>県立大学ビジネススクール（短期課程）開設事業（総務部） <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">チャレンジふくい</span></p> <p>県立大学にビジネススクールを開設するための第一歩として、事例研究など実践的な方式の短期課程（6か月）を開講します。 開講時期 前期・後期各1コース 開講場所 県立大学福井キャンパス、小浜キャンパス等</p>	2,500
--	-------

### 〈科学学術の顕彰〉

<p>⑧福井県科学学術顕彰事業（総務部）</p> <p>県内篤志家からの寄付金により福井県科学学術顕彰基金を創設し、科学技術の開発や学術研究において特に顕著な業績を挙げ、産業振興、地域活性化、住民福祉の向上に貢献したと認められる人を顕彰します。 表彰内容 毎年2人以内（賞金100万円）</p>	52,621
---	--------

## ◇新たな販路開拓

### 〈東アジア・マーケット開拓戦略の実施〉

<p>繊維・眼鏡産業海外マーケット開拓支援事業（産業労働部）</p> <p>繊維・眼鏡関連中小企業等が行う海外展示商談会への出展等を支援し、繊維・眼鏡製品のさらなる需要拡大と販路開拓を図ります。 事業期間 15年度～18年度 実施主体 繊維・眼鏡関連中小企業または企業グループ（15件程度） 補助率 1/2（補助限度額 100万円）</p>	15,000
--	--------

<p>繊維製品東アジア販路開拓支援事業（産業労働部）</p> <p>国際的展示会であるインターテキスタイル上海への出展を支援し、福井県産繊維製品のPRと販路開拓を推進します。 事業期間 15年度～18年度</p>	4,121
--	-------

⑧福井米東アジア市場販路開拓事業（農林水産部） チャレンジふくい

700

東アジア市場における福井米の販路開拓を図るため、試食販売等による販売推進を支援します。

事業期間 17年度～19年度  
実施主体 県、経済連  
補助率 国1/2（実施主体1/2）  
事業内容 試食販売キャンペーンの実施、アドバイザー招聘  
米の輸出に係る販売推進奨励金

〈県海外事務所機能の再構築と上海事務所の充実強化〉

東アジア海外事務所機能強化事業（総務部） チャレンジふくい

4,668

上海事務所にビジネスコーディネーターおよび経済顧問を配置し、法律や商慣習に関する相談対応、取引先紹介等を行い、本県企業の販路開拓等の取組みを支援します。

◇先端産業の誘致

〈大胆な企業誘致の展開〉

企業誘致アタック500推進事業（産業労働部） チャレンジふくい

2,648

本県への企業立地をより一層促進するため、年間延べ500社に対する企業誘致活動を展開します。

事業期間 16年度～18年度  
事業内容 立地する可能性が高い企業への訪問等

企業立地促進補助金（産業労働部）

2,161,186

本県への企業立地を促進するため、土地の取得費や造成費などに対して補助を行い、本県の産業構造の高度化と雇用機会の拡大を図ります。

事業期間 13年度～17年度  
対象業種 先端技術産業、一般製造業、情報サービス業、試験研究所

産業団地整備事業補助金（産業労働部） 電源

133,900

市町村が行う産業団地の造成に対して補助を行い、地域産業の活性化と雇用機会の拡大を図ります。

事業期間 16年度～17年度  
実施主体 三方町  
補助率 2/3以内

誘致企業支援補助金（産業労働部） 電源

11,034

企業誘致をより積極的に推進するため、新たな県外からの進出企業に対し、従来からの補助制度（企業立地促進補助金）と併せ、事業活動費等を対象とした補助を行います。

事業期間 15年度～18年度

---

立地企業関係強化事業（産業労働部） チャレンジふくい

1,000

県と市町村が協力し、県内に既に立地している企業との意見交換の場を設け、立地企業に対して増設や関連企業の誘致を促し、県内産業の継続的な発展・活性化を図ります。

事業期間 16年度～18年度

### 3 福井の豊かさを支える農林水産業

#### ◇農業

〈農業生産法人数・認定農業者数を1.5倍に〉

新規就農サポート事業（農林水産部） チャレンジふくい 19,851

次代を担う農業者を確保するため、優良農家での研修や奨励金の交付等により新規就農者の育成、確保を図ります。

事業期間 16年度～18年度

実施主体 県、市町村

補助率 県1/2（市町村1/2）

県1/4（市町村1/4 就農者1/2）

事業内容 新規就農者農家等受入研修支援事業（県）  
新規就農者経営支援事業（市町村）

・新規就農研修奨励金

・就農開始小農具等整備奨励金

新規就農者住宅確保支援事業（市町村）

⑩新規就農者（園芸認定就農者）機械等リース事業（農林水産部） チャレンジふくい 27,000

新規就農者に対して機械等のリース事業を行う（財）福井県農業公社に対し助成します。

事業期間 17年度～19年度

実施主体 県農業公社

補助率 県1/3（市町村1/3 県農業公社1/3 リース料収入）

⑪ふくいアグリスクール開催事業（農林水産部） チャレンジふくい 2,580

農業に意欲と夢を持った若者等が現在の職業に従事しながら就農のための基礎知識や技術を習得できるようにするとともに、新たに実践研修を希望する者には専門の講師による指導を行います。

事業期間 16年度～18年度

事業内容 入門コース 座学講義、農家視察・実習

⑫実践コース 園芸振興センターを利用した実践研修、宿泊費助成

生産組織高度化支援事業（農林水産部） 8,000

機械共同利用組織や受託組織等が高度な経営体である協業組織や農業法人となるよう、経営分析や経営相談を行います。

事業期間 15年度～17年度

事業内容 組織形態の高度化を目指す生産組織の認定  
組織形態の高度化に向けた支援活動の実施

〈地域における生産組織を育成し、農業経営の低コスト化の推進と品質向上に向けた支援〉

⑩坂井北部丘陵地農業経営体育成モデル事業（農林水産部） チャレンジふくい 県民参加 68,000

坂井北部丘陵地における園芸振興を図るため、同地で新規に企業的農業経営を目指す農業生産法人の施設整備等に対して助成します。

事業期間 17年度～19年度  
 実施主体 新規参入する農業生産法人または農業者で組織する団体  
 補助率 企業的経営を目指すための調査・研修等のソフト事業  
           県1/2（実施主体1/2）  
           施設等の整備事業  
           県1/3（市町1/6 実施主体1/2）

⑪坂井北部丘陵地農業経営体育成基盤整備支援事業（農林水産部） チャレンジふくい 県民参加 14,000

坂井北部丘陵地に企業的農業経営を目指す農業生産法人の参入を促すため、基盤整備を行う市町に対し助成します。

事業期間 17年度～19年度  
 実施主体 あわら市、三国町  
 補助率 1/2

⑫村落広域営農支援事業（農林水産部） チャレンジふくい 89,901

集落農業を基本としつつ、集落を超えた新たな地域営農体制、更には旧村単位等の広域的な営農体制を整備し、生産性の高い水田農業の確立を図ります。

事業期間 16年度～18年度  
 実施主体 県、市町村、農業協同組合、営農集団等  
 補助率 1/2、1/3  
 事業内容 推進事業  
           組織育成事業  
           地区条件整備事業

⑬米政策改革円滑推進事業（農林水産部） チャレンジふくい 66,800

大麦、大豆の高品質生産および生産配分への対応として加工用米の作付けを推進することにより、需要に応じたものづくりと安定した経営体の育成を図ります。

事業期間 16年度～18年度  
 実施主体 農業者、営農集団  
 補助率 県1/2（市町村1/2）  
 事業内容 大麦・大豆品質向上奨励事業  
           加工用米推進事業

⑭農林水産業者等提案型共同研究事業（農林水産部） チャレンジふくい 5,000

県の試験研究機関が農林水産業者の技術開発を支援するため、試験研究に取り組むとともに、農林水産関係試験場と大学・民間企業等との共同研究により、「健康長寿の福井米・福井野菜」等健康長寿食品の開発に取り組みます。

事業期間 17年度～18年度  
 事業内容 農林水産業者の施設を活用した共同試験研究 5試験研究機関  
           民間企業等の施設を活用した共同研究 2課題



<p>⑩<b>農業者経営夢プラン支援事業（農林水産部）</b> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">チャレンジふくい</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">県民参加</span></p> <p>家業から企業への経営発展を促進するため、農産物加工品の開発等モデルとなる新しい取り組みを行う認定農業者等に対し助成します。</p> <p>事業期間 17年度～20年度（新規採択は19年度まで）</p> <p>補助率 1/2（補助限度額 500万円）</p>	10,075
<p>⑪<b>地域農業支援員設置事業（農林水産部）</b></p> <p>直売所に出荷する農家に対し、安全安心を中心とした栽培技術向上のための現地指導を行うため、農業改良普及事業等に10年以上従事した経験豊かな地域農業支援員を設置します。</p> <p>事業期間 17年度～19年度</p> <p>事業内容 地域農業支援員 50人の設置</p> <p>指導内容 伝統野菜など特色ある農産物の栽培技術 安全安心な農作物生産のための農薬適正使用</p>	5,300
<p>⑫<b>新規園芸産地形成事業（農林水産部）</b> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">チャレンジふくい</span></p> <p>高収益園芸品目による園芸農家の所得向上を図るため、既存品目の高度化や新たな「健康長寿の福井野菜」等の創出と普及用モデル展示圃の設置を行います。</p> <p>事業期間 17年度～19年度</p> <p>事業内容 新品目の選定、試作圃の設置 既存品目の経営モデル圃の設置 (高糖度ミディトマト、クリスマスイチゴ、日本一早いナシ) 求評・販売戦略検討</p>	20,700
<p>⑬<b>やる気のある園芸産地づくり支援事業（農林水産部）</b></p> <p>営農集団育成および産地再生のための施設整備を行う営農集団に対し助成します。</p> <p>事業期間 17年度～19年度</p> <p>補助率 1/2、1/3</p>	100,000
<p>⑭<b>高収益園芸品目緊急育成事業（農林水産部）</b> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">チャレンジふくい</span></p> <p>高収益園芸品目として高糖度ミディトマト、クリスマスイチゴに新たに日本一早いナシを加え、生産のために必要な設備整備に対して支援を行います。</p> <p>事業期間 16年度～18年度</p> <p>実施主体 県、市町村、農業協同組合、営農集団</p> <p>補助率 1/2</p>	80,400
<p>⑮<b>直播による稲作経営規模拡大事業（農林水産部）</b></p> <p>省力・低コストの直播栽培を普及拡大させることにより、稲作農家の経営規模拡大を図ります。</p> <p>事業期間 17年度～19年度</p> <p>実施主体 県、認定農業者、農業生産法人等</p> <p>補助率 1/4</p> <p>事業内容 県指導推進事業 経営規模拡大奨励事業</p>	26,400

---

---

**若狭牛生産施設整備事業（農林水産部）** 7,000

畜舎および省力的機械等の整備に対し補助を行い、若狭牛の生産拡大を図ります。

事業期間 16年度～18年度

実施主体 畜産農家等

補助率 1/2、1/3

**〈熟年農業者のグループ化を促進〉〈女性農業グループの育成、女性の感性を活かした農業経営の推進〉**

**いきいき女性・熟年農業者活動支援事業（農林水産部）** チャレンジふくい 22,800

女性や熟年農業者のグループを育成するとともに、商品開発や簡易な施設等整備、空き店舗を利用した販売促進活動に対し支援を行い、農業の活性化を図ります。

事業期間 15年度～17年度

実施主体 県、市町村、農業協同組合、女性・熟年農業者グループ

補助率 1/2、1/3

**〈福井型食生活の提案、地産地消および県産食材給食を強力に推進〉**

**ふくい食の安全・安心推進事業（福祉環境部）** 1,150

生産者から製造、流通、消費者および行政関係者で構成する「ふくい食の安全・安心会議」を開催し、県民が一体となって食の安全・安心を確保します。

事業内容 食に関係する幅広い県民の意見交換会の実施

食の安全・安心の普及啓発のためのフォーラムの開催

**福井型食生活推進事業（農林水産部）** 19,250

福井型食生活の定着に向けて、生産者、消費者、教育・保健関係者が連携して情報の提供と意識啓発を行い、福井の地産地消運動を推進します。

事業期間 15年度～17年度

実施主体 県、市町村等

補助率 国1/2（実施主体1/2）

県1/2（実施主体1/2）

**地場産学校給食推進事業（農林水産部）** 9,880

生産者の顔が見える安全で安心な食材を使った地場産学校給食を推進します。

事業期間 15年度～17年度

実施主体 県、市町村、農林水産業の生産者組織・団体

補助率 1/2

（実施校 16年度127校）

## 〈生産者の顔が見えるシステムの確立〉

### 福井県産農林水産物トレーサビリティ確立推進事業（農林水産部） 42,577

県産農林水産物の生産から流通、消費に至るまでの生産履歴情報を消費者に提供する体制整備を推進します。

事業期間 15年度～17年度  
実施主体 県、市町村、農業協同組合等  
補助率 1/2

### JAS法に基づく食品表示適正化事業（農林水産部） 2,750

JAS法に基づく食品表示制度の充実強化のため、表示ウオッチャーの設置等による県内食料品店の調査・指導を行い、制度の普及啓発に努めます。

事業期間 15年度～17年度

### 顔の見える福井県産農林水産物販売促進事業（農林水産部） 47,455

県産農林水産物における安全・安心の取り組みについて、積極的なPRを行うことにより販売促進を図ります。

事業期間 15年度～17年度  
実施主体 県、経済連、若狭牛流通促進協議会等  
補助率 1/2

## 〈環境調和型農業の普及促進と流通体制の整備〉

### 環境調和型農業ふくいモデル育成事業（農林水産部） 10,850

環境調和型農業に取り組む知事認定のエコファーマーをグループ化し、研修会等を実施するとともに、新たな生産方式の導入に必要な生産資材や病虫害の防除に対して支援を行います。

事業期間 15年度～17年度  
実施主体 県、モデル集団  
補助率 1/2

## 〈鳥獣被害対策の強化〉

### 鳥獣害のない里づくり推進事業（部局連携：福祉環境部・農林水産部） 93,008

県下一斉の有害鳥獣防除・駆除や電気柵の整備拡充を図り、イノシシから「里地・里山線」を防御し、農林業被害の拡大を防止するとともに、有害鳥獣の生息密度の高い地域などの重点的な防除指導や専門家育成により県内の鳥獣害防止体制の強化を図ります。

事業期間 16年度～18年度  
実施主体 県、市町村、各市町村鳥獣害対策協議会  
事業内容 広域一斉防除・駆除、電気柵、捕獲檻の設置  
有害鳥獣分布等の情報収集・分析  
野生鳥獣被害防除推進員、駆除隊員の養成

## 〈「エコ・ツーリズム」、「グリーン・ツーリズム」の推進〉

### 地域ぐるみ体験交流支援事業（農林水産部）

3,830

都市と農山漁村の交流拡大による地域の活性化を図るため、地域ぐるみの活動や体験交流施設の連携等を推進します。

事業期間 14年度～18年度

実施主体 県、市町村

補助率 国1/2（実施主体1/2）

### ⑧武生西部「人とメダカの元気な里づくり」推進事業（福祉環境部） チャレンジふくい

3,752

アベサンショウウオの生息地でもあり全国的に高い評価を受けている武生市西部地域の里地里山について、地域住民が主体となる保全活用およびエコ・ツーリズムの取組みを進めていきます。

事業期間 17年度～20年度

事業内容 希少野生生物保全監視員の養成

地元小中学生を対象とした希少野生生物保全のための環境教育の実施

地元主導のエコ・ツーリズム（エコキャンプ）の企画・実施

### ⑨名水を活かした地域づくり推進事業（福祉環境部） チャレンジふくい

5,000

本県の豊かな水資源を全国へアピールするため、名水を活かした地域づくりを支援します。

事業期間 17年度～20年度

実施主体 市町村、地域住民、経済団体、事業者等で構成する地域グループ

事業内容 湧水地の整備、水を活かした産業の振興、誘客の促進、情報発信

補助率 1/2（補助限度額 500万円）

## ◇林業

### 〈県産材の利用率を50%以上に〉

### ⑩「ふくいの森とつながる家づくり」推進事業（農林水産部） チャレンジふくい

7,279

住宅分野での県産材利用率を高めるため、県産材住宅を供給するシステムの構築や住宅部材の製品開発を推進します。

事業期間 17年度～19年度

実施主体 県、協業体等

補助率 国1/2（実施主体1/2）

事業内容 システムを構築した協業体を実施する施主の募集

県産材住宅の建築広報等に対する助成

県産スギ材を用いた壁材の開発

県産スギ材を用いた横架材天然乾燥の実証

<p>⑩間伐促進緊急特別対策事業（農林水産部）</p> <p>間伐の実施が比較的遅れている高齢級の森林整備に対して、重点的に支援します。</p> <p>事業期間 17年度～19年度</p> <p>実施主体 森林所有者等</p> <p>補助率 県3／10（市町村1／10 実施主体6／10）</p>	18,000
<p>⑪間伐材供給拡大事業（農林水産部）</p> <p>県産材利用率と間伐材利用率の拡大のため、未利用間伐材の搬出に必要な条件の調査を実施します。</p> <p>事業期間 17年度</p> <p>事業内容 未利用間伐材の搬出経費算出のための実証実験 未利用間伐材の販売可能率調査</p>	2,641
<p>良質住宅普及促進事業（土木部）</p> <p>法律により良質であると認められた住宅で県産材を50%以上使用する住宅を新築または購入する者に対して補助を行います。</p> <p>補助額 一戸当たり40万円 (克雪住宅、二世帯住宅等の場合は40万円上乘せ)</p>	184,000
<p>安心と満足の福井材ふれあい事業（農林水産部）</p> <p>福井材と県外産乾燥材との価格差を補てんし、生産量を増やすことで中期的なコストダウンを図り、福井材を使った木造建築を増やします。</p> <p>事業期間 15年度～17年度</p> <p>実施主体 県、福井材生産認定業者</p> <p>補助額 7,000円/m<sup>3</sup></p>	10,735
<p>木とのふれあい環境づくり推進事業（農林水産部）</p> <p>福祉施設や教育施設への県産材の活用や、イベントでの県産材を用いたPR製品の頒布などを支援することにより、県産材の需要拡大を推進します。</p> <p>事業期間 15年度～17年度</p> <p>実施主体 市町村、各種法人等</p> <p>補助率 1／2</p>	10,000

## 〈意欲のある林業者を支援〉

### ふくいの森ビジネス活性化事業（農林水産部） チャレンジふくい 20,700

低コストで山から市場へ木材が流れる体制を整備するため、抜き伐りによる伐採活動を積極的に進める森林所有者のグループ化や低コストで伐採搬出を行う事業者グループを育成します。

事業期間 16年度～19年度  
実施主体 県、福井県木材市場素材生産組合  
補助額 作業路 1,000円/m定額  
事業内容 施業活性化グループ育成事業  
森づくり隊結成支援事業  
伐採搬出用作業路開設支援事業

## 〈マツクイムシ被害防除を推進〉

### ㊦松くい虫等被害総合対策事業（農林水産部） 139,634

松くい虫等による被害の蔓延を防止するため、今回新たに保全対象から概ね2kmの範囲内の倒木危険箇所において枯損木を伐採するなど総合的な対策を実施し、森林資源の保全を図ります。

事業内容 駆除事業 16,376㎡ 伐倒駆除、枯損木処理  
予防事業 882ha 薬剤散布、樹幹注入

## ◇水産業

### 〈「漁業者の顔が見える」流通システムの確立〉

### がんばる海業(うみぎょう)支援事業（農林水産部） チャレンジふくい 7,004

地域の意欲ある漁業者の活動や組織強化を支援し、起業に向けた取組みに助成するとともに、次代を担う小中学生に体験漁業を通じて漁業への理解を深めさせ、意欲と能力のある担い手を育成します。

事業期間 15年度～19年度  
実施主体 福井県漁業協同組合連合会、福井県漁業就業者確保育成センター  
補助率 国1/2 県1/2  
県1/2（実施主体1/2）

### 産地ふくい水産流通機能強化事業（農林水産部） 2,381

県産水産物（養殖魚）のトレーサビリティシステムの導入のための検討会や研修会を開催するとともに、また、学校給食への県産水産物の導入に向けた取組みを推進します。

事業期間 15年度～18年度  
実施主体 県、福井県漁業協同組合連合会  
補助率 国1/2、1/3（実施主体1/2、2/3）

〈「越前がに」などのブランドを育成、水産物の高付加価値化〉

⑧栽培漁業自立支援事業（農林水産部） チャレンジふくい 県民参加 6,283

漁業者が自立した栽培漁業を推進するため、地域ごとの魚種を選択やコスト削減策の検討に対し支援するとともに、種苗放流事業に対し助成します。

事業期間 17年度～19年度

実施主体 漁業協同組合等

補助率 県1/3（市町村1/3 実施主体1/3）

⑨環境配慮型漁場保全事業（農林水産部） 8,693

良好な漁場環境を確保するため、沿岸漁場の環境保全や環境に配慮した魚礁整備に対し助成します。

事業期間 17年度～19年度

実施主体 漁業協同組合等

補助率 1/3

ふくい生まれのアユ増産事業（農林水産部） 10,000

栽培漁業センター等の既存施設を活用した県産アユの増産体制を確立し、福井生まれ、福井育ちの「ふくいアユ」の地域ブランドを確立することにより、内水面漁業の振興を図ります。

事業期間 16年度～20年度

安全でおいしい若狭ふぐ高品質化事業（農林水産部） 6,700

「若狭ふぐ」のブランドとしての地位を確立し市場価格を高めるため、現在の市場が求めている「安全でおいしい」トラフグの養殖技術を開発し、高品質化を図ります。

事業期間 16年度～19年度

実施主体 県、福井県かん水養魚協会

補助率 国1/2 県1/4（実施主体1/4）

## Ⅱ 元 気 な 社 会

### 4 女性の元気が福井の元気

#### ◇女性の持つ優れた感性を県政に反映 予 算 額 (単位：千円)

福井女性会議開催事業(総務部) 1,664

県内の女性を広く募り、県政の様々な課題について意見や提言を求め、女性の持つ優れた感性や発想を県政に反映させます。

対 象 者 県内在住の20歳以上の女性 50名程度(一般公募)

男女共同参画海外調査派遣事業(県民生活部) 3,787

自主企画により男女共同参画に関する海外調査を行うグループに助成するとともに、諸外国有識者を含めたシンポジウムを開催し、本県における男女共同参画社会の形成を強力に進めます。

事業期間 16年度～18年度

実施主体 男女共同参画海外調査派遣事業実行委員会

事業内容 海外調査に要する経費の助成(補助率1/2 上限60万円×2グループ)  
グローバル政策対話福井会議の開催(内閣府と共催)

#### ◇女性の起業や経営革新を支援

女性企業家支援事業(産業労働部) 2,000

女性が創業や経営革新に取り組みやすい環境を整備するため、女性企業家のための相談窓口を設置するとともに、女性の異業種交流会を開催します。

実施主体 産業支援センター

#### ◇子育てと自己実現のための活動が両立できる環境づくり

〈生き活きとした子育て環境づくり〉

⑧子育てマイスター地域活動推進事業(福祉環境部) 2,531

子育てに関わりのある有資格者(保育士、教師、保健師等)を子育てマイスターとして認定、登録するとともに、子育て中の親が地域で気軽に集える場を提供します。

実施主体 県、市町村

事業内容 子育てマイスターによるラジオ番組での育児アドバイスの実施  
児童館や公民館等で乳幼児と保護者が集える場を提供し、子育てマイスターを活用する市町村の事業に対する助成 等

補 助 率 1/2



⑧子育てメール相談推進事業（福祉環境部） 1,670  
 県の携帯電話用ホームページからメールで子育て相談が行えるようにし、子育て中の親がいつでも気軽に相談できる環境を整備します。

⑨#8000子ども医療電話相談事業（福祉環境部）県民参加 14,524  
 病児を抱えた保護者の不安を解消するため、毎日、夜間（19時から24時まで）に全国統一の小児医療電話相談用短縮番号「#（シャープ）8000」で気軽に小児科医に相談できる体制を整備します。

〈子育てを支援する労働環境の整備〉

⑩子育て支援職場づくり推進事業（産業労働部）チャレンジふくい 県民参加 9,100  
 労働者が育児休業等を取得しやすく、働きながら子育てしやすい環境を整備するため、育児休業制度やフレックスタイム制の導入を図る企業等に対し、子育て支援奨励金を支給するとともに普及啓発に努めます。

⑪企業の父親子育て奨励事業（部局連携：福祉環境部・産業労働部）チャレンジふくい 7,438  
 子育て中の男性社員を支援する取組みを行っている企業を表彰し、父親が子育てに参画しやすい環境づくりを推進します。  
 表彰企業への特典 中小企業育成資金(一般)特別枠の創設（保証料を全額補給）等

⑫中小企業育成資金貸付金（企業の父親子育て奨励分）チャレンジふくい 40,000  
 （部局連携：福祉環境部・産業労働部）  
 中小企業育成資金(一般)に保証料を全額補給する特別枠を創設し、子育て中の男性社員を支援する取組みで表彰を受けた企業を支援します。  
 貸付限度額 8,000万円  
 資金使途 設備資金および運転資金  
 融資期間 設備資金 7年以内（据置1年以内）  
                   運転資金 5年以内（据置6か月以内）  
 保証料 全額補給  
 貸付枠 4億円

⑬勤労者ライフプラン資金貸付金（育児・介護休業生活資金貸付金）チャレンジふくい 50,000  
 （産業労働部）  
 育児・介護休業期間中の生活資金を低利で融資し、育児・介護休業の利用促進を図ります。  
 貸付限度額 100万円  
 資金使途 育児・介護休業期間中の生活資金  
 融資期間 5年以内（据置休業期間中かつ1年6か月以内）  
 貸付枠 7,500万円

〈子どもへの虐待を防ぐ環境づくり〉

⑧地域ぐるみ児童虐待防止体制整備事業（福祉環境部）県民参加 4,790  
 児童虐待防止の関係機関による連絡会議を設けるとともに、地域協力員の養成（1,800人）等により、近年増加傾向にある児童虐待の防止および早期発見・早期対応に取り組みます。

⑨24時間・365日児童相談事業（福祉環境部）県民参加 7,934  
 総合福祉相談所に、夜間、休日も児童相談を受け付ける専任職員を配置し、24時間365日相談に対応できる体制を整備します。

⑩育児不安解消サポート事業（福祉環境部） 2,124  
 子育てに関する強い不安や悩みを持つ親を対象に、精神科医等専門家によるグループワークを実施し、虐待を未然に防止します。

〈幼稚園・保育園での預かり保育やきめこまかな子育てサービスを充実〉

⑪私立幼稚園低年齢児受入サポート事業（総務部）県民参加 12,000  
 私立幼稚園が実施する低年齢児に配慮した施設・設備の整備に対し補助し、低年齢児の受入れ環境の充実を図ります。  
 実施主体 低年齢児を受け入れる私立幼稚園の設置者  
 補助対象 軟クッション床材への張替え、トイレ改修等施設・設備の整備  
 補助率 1/3（補助限度額 40万円）

特定保育事業（福祉環境部） 4,661  
 保育所に入所していない児童の保護者が、パートタイム労働などで一時的に養育困難となった場合、月単位で必要な日時に児童の保育が受けられるようにします。  
 実施主体 市町村（保育所に委託）  
 補助率 国1/2 県1/4（市町村1/4）

⑫すみずみ子育てサポート事業（福祉環境部）チャレンジふくい 電源 5,385  
 病気、冠婚葬祭などで一時的に子育てに対する支援が必要となった場合、保育サービス、家事代行サービス、保育所等への送迎などNPO等が行うきめこまかな子育てサービスに対する経費の助成を拡充して実施します。

	現行制度	拡充内容
実施主体	市町村 〔市町村社会福祉協議会 NPO等に委託〕	→ 〔保育士、保健師等の個人が市町村社会福祉協議会に登録して実施する場合を追加〕
補助対象時間	利用時間1日当たり4時間まで	→ 8時間までに延長
補助対象額	利用料金350円/時間 (補助率1/2)	→ 利用料金に加え、保険料(年額)400円/人 (補助率10/10)を補助

## 〈児童館・児童センター等の整備を促進、放課後児童クラブを育成・充実〉

こども家族館（仮称）整備事業（福祉環境部）電源 132,311

嶺南地域に「こども家族館（仮称）」を整備します。

事業期間 17年度～20年度

整備場所 大飯町成海

事業内容 17年度 基本設計、実施設計

保育所施設整備費補助金（福祉環境部） 42,821

公立および私立の保育所の改築に要する経費に助成し、入所児童の福祉向上を図ります。

実施主体 市町村、社会福祉法人等

対象保育所数 3施設

補助率 国1/2 県1/4（設置者1/4）

放課後児童クラブ育成事業（福祉環境部）チャレンジふくい 119,489

昼間保護者のいない家庭の小学校低学年児童に遊び場等を提供するため、地域で運営される児童クラブに対し助成を行い、児童の健全育成を図ります。

実施主体 市町村

補助率 標準児童クラブ 国1/3 県1/3（市町村1/3）

ミニ児童クラブ 県1/2（市町村1/2）

## 〈「まちなかキッズルーム」（休憩室・授乳室）を100か所設置〉

まちなかキッズルーム設置促進事業（福祉環境部） 35,000

乳幼児連れの利用者が見込まれる施設において、授乳施設やおむつの交換設備等の整備を促進し、家族がいつでも気軽に外出できる環境をつくります。

実施主体 県、市町村

整備箇所数 県施設 10か所 市町村・民間施設 15か所

補助率 市町村有施設 県1/2（市町村1/2）

民間施設 県1/2（市町村1/4 事業者1/4）

## 〈「病児デイケア」を全市に設置〉

病児デイケア促進事業（福祉環境部）チャレンジふくい電源 8,621

病気治療中で集団保育が困難な児童を病院等で一時的に預かるサービスの実施に必要な経費に助成し、病児デイケアの充実を図ります。

実施主体 市町村（病院等に委託）

補助率 県1/2（市町村1/2）

病児デイケア施設整備事業（福祉環境部） 8,910

病児デイケア施設の整備費に対し助成し、その設置を促進します。

実施主体 病院等

対象施設数 3か所

補助率 国1/3 県1/3（設置者1/3）

## 〈小児救急・周産期医療ネットワークの整備〉

### 小児救急医療支援事業（福祉環境部） 4,727

小児医療について、病院の輪番制による夜間救急医療体制を確立し、急な入院加療が必要な子どもに対して的確な治療が行える体制を整備します。

実施主体 市町村

補助率 国1/3 県1/3（市町村1/3）

### 周産期医療体制運営事業（福祉環境部） 162,044

危険性の高い妊娠や出産における安全性を確保するために、高度専門的な医療を提供します。

事業内容 総合周産期母子医療センターの運営

周産期医療協議会の開催

周産期医療情報ネットワークの運営

## 〈子育て家庭等の経済負担を軽減〉

### 不妊治療費助成事業（福祉環境部） 10,113

不妊治療を受けたい夫婦の経済的負担を軽減するため、治療費の一部を助成します。

助成対象 体外受精および顕微授精に要する検査費および治療費

助成額 治療費の一部（年額10万円限度）

助成期間 4年間（国の制度 2年間 本県独自制度として2年延長）

## 〈若者の結婚対策の充実〉

### ⑨若者出会い交流応援事業（福祉環境部） 4,652

自然な形で男女の出会い・交流ができる場を提供する市町村の事業を支援するとともに、結婚相談事業を充実させ、結婚を希望する若者を応援します。

実施主体 県、市町村

補助率 1/2

## 〈配偶者からの暴力を容認しない社会づくり〉

### ⑩配偶者暴力防止および被害者保護のための福井県基本計画（仮称）策定事業 （県民生活部） 1,000

「配偶者暴力防止および被害者保護のための福井県基本計画（仮称）」を策定し、暴力防止および被害者保護等に関する基本的な方針ならびに施策の方向性を明確にすることにより、配偶者からの暴力を容認しない社会の実現を目指します。

## 5 未来を託す人づくり

### ◇未来を託す人づくり

#### 〈高校生の学力全国10位以内の実現〉

高等学校学力向上教員配置事業（教育庁） 140,000

県立高等学校に教科指導および進路指導の中核となる指導的教員を配置し、教科指導力の向上、生徒個々に応じた進路指導の充実および学習時間の確保等を図ります。

配置教員数 20人

中高一貫教育推進教員配置事業（教育庁） 56,752

中高6年間の計画的・継続的な教育課程の編成や指導方法の工夫、中高の交流活動の研究などを行うために教員を配置し、本県にふさわしい中高一貫教育を推進します。

対象校 金津高校、丹生高校、美方高校、武生高校池田分校

配置教員数 8人

教員指導力向上事業（教育庁） 1,118

大手予備校講師を招き、教員を対象に実践的な研修会を開催し、高校教員の教科指導力の向上を図ります。

事業内容 教科指導法、入試問題の分析方法等の研修

高校生学力向上推進支援事業（教育庁） 15,000

学習合宿の実施や、大学のオープンキャンパスへの参加など各高校独自の企画による学力向上のための取組みに対し、重点校と努力校を指定して支援します。

対象校 普通科、総合学科設置校18校

高校生学力診断テスト実施事業（教育庁） 1,600

生徒一人ひとりの基礎学力に応じた学習指導を行うための基礎学力診断テストや、大学入試センター試験会場でのプレテストを実施します。

#### 〈30人学級編成の導入〉

元氣福井っ子笑顔プラン事業（教育庁） 617,178

小学校3～5年においては、ティーム・ティーチングや少人数での指導を強化するとともに、小学校6年から中学校3年においては、少人数学級編成の段階的な導入を進め、きめ細かな教育体制の充実を目指します。

配置教員数 87人

<p>⑩低学年学校生活サポート推進事業（教育庁）<span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">県民参加</span></p> <p>小学校1、2年において、児童の学校生活を支援するため、非常勤講師を配置するほか、ボランティアの導入を引き続き推進して、きめ細かな教育体制の充実を図ります。</p> <p>配置数 非常勤講師100人</p>	211,062
--	---------

〈きめこまかな教育体制の充実〉

<p>⑪学級特別サポート事業（教育庁）</p> <p>注意欠陥・多動性障害などにより特別な支援を必要とする児童・生徒に対して、ティームティーチング等による指導を行います。</p> <p>配置数 非常勤講師20人</p>	27,738
---	--------

<p>私立高等学校魅力アップ推進事業（総務部）<span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">チャレンジふくい</span></p> <p>私立高等学校の特色ある教育の推進や開かれた学校づくりに係る事項に着目し、取組みに応じて加算補助することにより、各校の魅力アップを推進します。</p> <p>特色教育推進加算 多様な学科等の設置、部活動・ボランティア活動の充実等に着目して加算 開かれた学校づくり推進加算 教育内容、財務状況などの情報公開等に着目して加算</p>	300,000
--	---------

<p>県立学校リフレッシュ事業（教育庁）<span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">電源</span></p> <p>電源立地交付金も活用することにより、県立学校の改築・リフレッシュ工事等の一層の促進を図り、県立学校の快適な学習環境を整備します。</p> <p>事業内容 4校の施設整備、実習用設備整備 等</p>	1,748,622
--	-----------

<p>県立高等学校冷房設備設置促進事業（教育庁）</p> <p>県立高校において、PTA等による教室への冷房設備の設置と併せ、必要となる諸施設を整備し、生徒の学習意欲の向上を図ります。</p> <p>対象校 福井商業、武生商業、若狭東高</p>	36,225
--	--------

<p>⑫県立大学法人化準備事業（総務部）</p> <p>平成19年4月までに県立大学の法人化を行うため、監査法人の助言等を得ながら新たな会計制度構築等の準備に着手します。</p>	11,300
---	--------

<p>⑬県立大学生物資源学部における教育水準向上事業（総務部）</p> <p>県立大学生物資源学部の教育プログラムについて、平成20年度にJABEE（日本技術者教育認定機構）の認定審査を受けるため、カリキュラムの充実等を行います。</p>	914
---	-----

㊦ 県民参加による県立大学地域貢献研究推進事業（総務部） 30,581

県の行政施策や地域社会のニーズを反映した特色ある研究に対して、県民等で構成する委員会の意見を踏まえ奨励研究費を交付し、その成果を地域社会に還元します。新規枠の概ね1/2について「健康長寿」を研究テーマとします。

交付額 1件100万円以内

県立大学授業改善活動（ファカルティ・ディベロップメント）実施事業（総務部） 2,695

大学間競争が激化する中、県立大学において質の高い教育を提供するため、学生、教員の参加による授業の改善を行います。

事業内容 学外講師による研修会の開催、学生による授業評価等

ボランティア体験「ユースチャレンジャー隊」事業（県民生活部） 7,000

青少年がボランティア活動を通して、心のよりどころと達成感を得られるよう、ボランティアリーダーを中心に各地域で清掃活動などの社会貢献活動を展開し、健全な青少年の育成を図ります。

事業内容 地域ボランティアリーダーの選定

青少年ボランティアの募集およびボランティア活動の実施

（県内7地区で実施）

青少年非行防止・マナーアップ推進事業（県民生活部） 3,155

少年非行を抑止するために、県下一斉の街頭補導活動、公共交通機関でのマナー指導および県内主要ショッピングセンター等での非行防止キャンペーンを実施します。

実施主体 県

協力機関 青少年愛護センター、学校、警察

公共交通機関、青少年育成福井県民会議、青少年育成市町村民会議 等

〈英語などの会話力養成〉

英会話力向上事業（教育庁） 2,185

小・中・高等学校における英会話力向上のための取組みを推進し、児童・生徒の英会話能力を育成します。

事業期間 15年度～18年度

対象校 小・中・高等学校 23校

〈「福井型コミュニティ・スクール」を全市町村に創設〉

「福井型コミュニティ・スクール」推進事業（教育庁） 4,145

家庭・地域との連携による新しいタイプの学校づくりのため、モデル校を指定して、本県にふさわしい「福井型コミュニティ・スクール」のあり方を研究し、県下に普及します。

事業期間 15年度～17年度

対象校 小・中学校 14校

---

## 〈食育の推進〉

### ㊦元氣いきいき福井をつくる食育推進事業

(部局連携：福祉環境部・農林水産部・教育庁) チャレンジふくい 県民参加

42,564

「健康長寿」の基本であるふくいの食文化や食習慣について、家庭・地域・学校が連携して、食や農の体験を重視した食育を推進することにより、豊かな心と健康な身体の育成を図ります。

事業内容 食育ボランティアの養成  
食育活動マニュアルの作成  
栄養教諭の配置  
県産農産物を活用した学校給食での食育推進 等



## 6 生き生きやさしい福井づくり

### ◇元気百歳プロジェクト

#### 〈がん検診の徹底〉

**元気長生きがん予防推進事業（福祉環境部）** 12,131  
がん検診の有効性を普及啓発するとともに、乳がん検診のための機器を整備し、がん検診の受診率向上を図ります。

#### 〈「健康寿命」の引き上げ〉

**高齢者の体力づくり研修・普及事業（福祉環境部）** 1,455  
高齢者が個人に応じた健康づくり活動を実践できるように、老人クラブ連合会が行うリーダー養成研修等を支援します。  
事業期間 15年度～17年度  
実施主体 (財)福井県老人クラブ連合会  
補助率 国1/2 県1/2

⑨**日本まんなか共和国健康いきいき交流フェア開催事業（福祉環境部）** 2,671  
より多くの高齢者にスポーツに親しむ機会を提供するため、滋賀県、岐阜県、三重県とともに健康交流スポーツフェスティバルを開催します。  
開催期日 10月28日、29日  
開催場所 滋賀県

**セルフケアの健口（けんこう）づくり事業（福祉環境部）** 6,048  
県民の歯の健康づくりを推進するため、子どもから高齢者まで各ライフステージに応じた歯と口の健康づくりに取り組みます。  
事業内容 事業所および市町村に出向いての歯科健診指導  
歯科医療従事者研修会の開催 等

⑨**へき地の医師確保対策事業（福祉環境部）** 県民参加 12,483  
地域医療に意欲のある医師を公募し、県立病院等において2年間の総合医養成研修を行った後、県内のへき地診療所に派遣します。

⑨**自動体外式除細動器（AED）普及事業（福祉環境部）** 県民参加 25,860  
県民の心室細動等による突然死を減少させるため、県立学校や多数の県民が利用する県有施設にAEDを整備するとともに、AEDの取扱い講習会等を行います。  
整備箇所 県立学校 46か所  
スポーツ・文化施設等 19か所

<p>⑧ 公立小浜病院救命救急・健診機能整備支援事業（福祉環境部） <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">電源</span></p> <p>公立小浜病院の再整備に対し、救命救急センターおよび健診部門の整備に要する経費に対し助成します。</p> <p>補助期間 17年度～21年度</p>	228,000
---	---------

〈県立病院の再整備〉

<p>県立病院建設事業（第二期建設工事）（福祉環境部）</p> <p>こころの医療センター病棟（精神病棟）の建設を行います。</p> <p>事業期間 16年度～18年度</p> <p>建設事業費 約71億円</p> <p>構造 鉄筋コンクリート造 地上4階 地下1階</p> <p>延床面積 15,967㎡</p>	1,766,983
---	-----------

<p>県立病院建設事業（立体駐車場PFI事業）（福祉環境部）</p> <p>県立病院立体駐車場について、PFI方式により整備するため、実施方針の策定・公表、PFI事業の選定等必要な手続きを行います。</p> <p>事業内容 アドバイザーの委託（委託期間17年度～18年度） PFI事業審査委員会の設置</p> <p>※PFI 公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力および技術的能力を活用して行う新しい手法</p>	16,634
---	--------

<p>県立病院関連施設再整備事業（福祉環境部・教育庁）</p> <p>県立病院の再整備に伴い、小児療育センター、看護専門学校、福井東養護学校および特殊教育センターを一体的に再整備します。</p> <p>事業期間 16年度～18年度</p> <p>建設事業費 約76億円</p> <p>構造 鉄骨鉄筋コンクリート造 地上5階 地下2階</p> <p>延床面積 19,749㎡</p> <p>事業内容 建設工事、テレビ受信障害対策工事</p>	2,609,403
---	-----------

◇一人ひとりの命が輝く福祉

〈障害者が安心でき、夢を持てる社会づくり〉

<p>⑧ 授産施設経営ノウハウ向上事業（福祉環境部） <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">県民参加</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">電源</span></p> <p>平成17年4月に設立予定の福井県セルフ振興センター（仮称）への支援や授産施設へのアドバイザーの派遣等により、授産施設で働く障害者の経済的自立を支援します。</p> <p>事業内容 マーケティング研修会の開催 商品開発アドバイザー等の派遣 等</p>	4,074
--	-------

<p>⑨地域療育拠点設置事業（福祉環境部）<span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">県民参加</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">電源</span></p> <p>小児療育センターから遠距離の奥越、丹南、嶺南地域において、身近な医療機関で療育が受けられるよう、小児療育体制を整備します。</p> <p>事業内容 拠点病院での小児療育の実施 小児療育センターの医師、理学療法士等の定期巡回による拠点病院への支援</p>	13,500
<p>障害児夏休み等生活支援事業（福祉環境部）<span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">電源</span></p> <p>夏休み等長期休暇中に障害児の日中介護を行う民間団体等に助成し、障害児および保護者が安心して生活できるよう、支援体制を充実します。</p> <p>実施主体 市町村（民間のサービス提供団体等に委託） 補助率 県1/2（市町村1/2）</p>	3,178
<p>障害者地域生活推進特別モデル事業（福祉環境部）</p> <p>心身等に障害のある方が施設から地域生活へ円滑に移行できるよう、市町村が実施する生活支援体制向上のためのモデル事業を支援します。</p> <p>実施主体 市町村 補助率 国1/2 県1/4（市町村1/4） 事業内容 地域生活推進員、ケアマネージャーの配置等</p>	11,250
<p>障害者自立活動促進事業（福祉環境部）</p> <p>障害者の自立を促進するため、障害者自らが企画した自立活動計画の実現に資する自立支援施設や企業等での実践活動を支援します。</p> <p>助成対象 実践活動のため、県外の施設、企業等を訪ねる旅費 補助率 2/3（補助限度額 10万円）</p>	1,650
<p>知的障害者グループホーム支援事業（福祉環境部）<span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">電源</span></p> <p>知的障害者グループホームが行う安全対策設備等の整備に対し助成し、グループホームの設置を促進します。</p> <p>実施主体 障害者グループホームを運営する社会福祉法人 助成対象 スプリンクラー等の安全対策設備の設置費 共同生活用備品の購入費 補助率 3/4</p>	24,375
<p>若越ひかりの村・清水養護学校冷暖房設備整備事業（福祉環境部）<span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">電源</span></p> <p>福井県心身障害者コロニー若越ひかりの村および清水養護学校の冷暖房設備を再整備します。</p>	110,000

〈NPO、ボランティアや地域コミュニティと連携して、地域全体で高齢者、障害者等を支える体制を整備〉

⑧高齢者在宅生活相談・支援事業（福祉環境部）	6,510
在宅生活が困難な高齢者の在宅生活を継続可能とするため、相談支援体制を整備する市町村に対し補助します。	
実施主体 市町村（4圏域内で各1市町村をモデル市町村として指定）	
補助率 国1/2 県1/4（市町村1/4）	
⑨介護予防・リハビリ推進人材養成事業（福祉環境部）	19,984
[チャレンジふくい] [県民参加]	
介護予防に関する人材を養成し、高齢者の介護環境を整備します。	
事業内容 介護予防マネージャー（180人）、介護予防サービス従事者（600人）の養成 相談窓口の設置 介護予防・リハビリ施設への指導・支援 等	
いきいき支え合い地域づくり事業（福祉環境部）	4,500
市町村地域福祉計画に基づき、地域が主体となって行う高齢者、障害者および子どもたちを支えるための仕組みづくりを支援し、地域福祉を推進します。	
事業期間 16年度～19年度	
実施主体 市町村	
補助率 県1/2（市町村1/2）	
福祉ボランティア活動の場づくり支援事業（福祉環境部）	6,100
市町村が行うボランティア団体の活動の場の確保に対して助成を行い、ボランティア活動の一層の推進を図ります。	
実施主体 市町村	
補助率 国1/3 県1/3（市町村1/3）	
福祉の地域づくり推進支援事業（福祉環境部）	2,803
住民の主体的参加による様々な地域福祉活動が一層活発に展開されるよう、ボランティア団体の代表者等による実践発表交流会の開催や地域福祉活動を担うリーダーの養成研修を行います。	
事業期間 15年度～18年度	
地域福祉推進拠点施設整備事業補助金（福祉環境部）	273,851
[電源]	
地域のニーズに応じた福祉活動の拠点施設の整備に対し助成し、地域福祉の向上を図ります。	
実施主体 市町村	
対象施設 上中町福祉・保健総合拠点施設（仮称）	
補助率 1/2	

---

---

**精神科救急医療システム整備事業（福祉環境部）** 23,481

緊急な医療を必要とする精神障害者等に対し、昼夜一貫した医療が適切に提供できるよう、輪番制による24時間受け入れ体制を整備します。

実施時間 毎日 17:00～翌日9:00 休日昼間 9:00～17:00  
指定病院数 嶺北地区一県立病院ほか6病院  
嶺南地区一公立小浜病院ほか3病院

**こころのケア推進事業（福祉環境部）** 3,900

様々なストレスが原因となって、精神障害や「ひきこもり」が年々増加していることから、県精神保健福祉センターにおいて早期発見・早期治療を目的とした指導事業を行い、県民の心の健康づくりを促進します。

指導内容 ストレスチェック、ストレスセミナー、ひきこもりグループ療法 等

**〈障害者が健常者とともに暮らすまちづくり〉**

**㊦第50回記念日本身体障害者福祉大会ふくい大会開催支援事業（福祉環境部）** 9,600

第50回記念日本身体障害者福祉大会ふくい大会の開催費の一部を助成するとともに障害者のための設備を整備します。

開催期間 5月25日～27日  
会 場 県民健康センター、サンドーム福井 ほか  
整備内容 オストメイト(人工肛門・人工膀胱保有者)対応トイレを整備

**民間施設バリアフリー整備事業（福祉環境部）** 25,000

不特定多数の人が利用する民間施設（商業施設、交通施設、宿泊施設）のバリアフリー整備に対して支援を行い、福祉のまちづくりを進めます。

実施主体 民間事業者  
補助率 県1/2 市町村1/4（設置者1/4）  
整備内容 段差解消、玄関の自動ドア化、障害者用駐車場、  
障害者トイレ、点字ブロック、バリアフリー客室

⑧ユニバーサル・デザインのまちづくり推進事業（福祉環境部）

各部局で行う人にやさしいまちづくりに関する施策が、より効果を発揮するよう、相互に調整することにより、障害者、高齢者、幼児を含むすべての県民にとって、安全で暮らしやすいユニバーサル・デザイン（万人向け設計）のまちづくりを推進します。

<関連した事業による主な取組み>

歩行者の視点に立った施策

- ・人にやさしい歩行空間形成事業（土木部）
- ・安心して明るい子どもの道整備事業（土木部）
- ・あんしん歩行エリア整備事業（土木部・警察本部）
- ・横断歩道ユニバーサル・デザイン化事業（警察本部）

雪対策に関する施策

- ・歩道除雪モデル事業（土木部）

子どもの安全・安心のための施策

- ・まちなかキッズルーム設置促進事業（福祉環境部）
- ・⑧子ども安心3万人作戦（県民生活部・教育庁・警察本部）
- ・⑧ふくいマイタウン・パトロール隊育成・支援事業（県民生活部・警察本部）
- ・⑧地域ぐるみ児童虐待防止体制整備事業（福祉環境部）

公共交通機関に関する施策

- ・生活バス路線確保対策事業（県民生活部）
- ・新世紀ふくい生活交通活性化支援事業（県民生活部）

建築物に関する施策

- ・民間施設バリアフリー整備事業（福祉環境部）
- ・障害者や高齢者にやさしいまちづくり推進事業（福祉環境部）
- ・バリアフリーのこころ育成事業（福祉環境部）

横断歩道ユニバーサル・デザイン化事業（警察本部）

1,162

視覚障害者が安全に交差点を横断できるように、横断歩道に誘導点字ブロックを設置します。

設置場所 福井駅周辺の主要交差点（2交差点）

障害者等のユニバーサル・デザイン推進事業（福祉環境部）

1,450

障害者等が利用しやすいよう配慮された施設で特に優れた公益的施設や、バリアフリーを積極的に進めている団体等を表彰し、広く紹介することにより、障害者等のためのユニバーサル・デザインの普及を促進します。

事業内容 優良施設・団体等の表彰  
優良事例集の作成、配布

<「待機者ゼロ県」を実現>

老人福祉施設整備事業補助金（福祉環境部）

762,022

介護保険の円滑な運営と地域の老人福祉の向上を図るため、各種老人福祉施設の整備に助成します。

実施主体 社会福祉法人等  
対象施設 特別養護老人ホーム等 4か所  
補助率 国2/3 県1/3

---

## 〈福祉サービスの質の向上〉

- |   |       |
|---|-------|
| ⑧福祉サービス第三者評価推進事業（福祉環境部）   | 3,527 |
| 福祉サービス事業者に対する第三者評価制度の平成18年度からの導入に向け、評価機関の認証要件、評価基準等の策定、評価機関の認証等を行います。 |       |
| 介護サービスの情報開示の標準化モデル事業（福祉環境部）   | 2,058 |
| 介護サービスの情報開示制度の平成18年度からの導入に向け、調査員の養成およびモデル調査を行い、情報を開示する仕組みを整備します。      |       |

## Ⅲ 元気な県土

### 7 原子力は県民の立場に立って

#### ◇原子力は県民の立場に立って

〈原子力関連技術を活用した地域産業の振興〉

予算額  
(単位：千円)

⑧エネルギー研究開発拠点化推進体制整備事業（総務部） チャレンジふくい 県民参加

4,429

本県を、原子力を中心としたエネルギーの総合的な研究開発拠点地域とするため、産学官が連携した取組みを推進します。

事業内容 「エネルギー研究開発拠点化推進会議（仮称）」の設置  
若狭湾エネルギー研究センターにエネルギー研究開発拠点化推進組織を設置するための支援（施設改修）

〈参考〉平成17年度文部科学省予算（エネルギー研究開発拠点化計画関連）

- ・原子力関連業務従事者研修補助
  - ・「ふげん」を中心とした廃止措置研究開発等
- 計 19億1千万円

### 8 福井は列島のまん中-より近くより便利に-

#### ◇福井は列島のまん中

〈北陸新幹線の早期全線建設に向けた整備促進〉

⑧北陸新幹線建設事業（県民生活部）

338,615

30数年に及ぶ県内一丸となった運動が実を結び、16年末の政府・与党申合せにより北陸新幹線の福井駅部の認可と新幹線本体予算による着工が決定されたことを受けて、

17年度から福井駅部の建設工事に着工します。

事業期間 17年度～20年度

事業内容 福井駅部整備

事業費 10億円（17年度）

負担割合 国2/3 県1/3（うち1割は福井市負担の予定）

北陸新幹線建設促進事業（県民生活部）

28,433

1日も早い福井での開業と敦賀までの整備促進に向けて、国および関係機関へのさらなる働きかけおよび県民総ぐるみでの運動を盛り上げるための広報活動を行います。



〈舞鶴若狭自動車道の敦賀からの着工と早期全線開通、中部縦貫自動車道の整備促進〉

舞鶴若狭自動車道整備推進事業（土木部） 301,000

舞鶴若狭自動車道（小浜西～敦賀間）の早期全線整備に向けて、用地交渉、測量等を行います。

事業主体 県（日本道路公団から受託）

中部縦貫自動車道整備推進事業（土木部） 9,740

中部縦貫自動車道永平寺大野道路の早期完成に向けて、用地交渉等を行います。

事業主体 県（国土交通省から受託）

〈交通ネットワークとして不可欠な地域の道路網の整備〉

⑧越前加賀海岸道路（仮称）調査事業（土木部） 10,000

小松空港から東尋坊へのアクセスを改善する観光道路の整備の可能性について調査します。

〈地域公共交通機関の活性化と鉄道、バス等の地域交通網の確保〉

新世紀ふくい生活交通活性化支援事業（県民生活部） 35,000

「新世紀ふくい生活交通ビジョン」に基づき、市町村や広域生活交通活性化協議会が実施する公共交通機関の利便性を高めるための施設整備や地域ごとの課題に応じた調査・実験、利用促進のための取組みを支援します。

実施主体 市町村、広域生活交通活性化協議会

補助率 1/2

福井都市圏総合都市交通体系調査事業（土木部） 90,000

嶺北地域で交通実態調査を行い、都市圏交通の課題を分析し、都市交通体系整備の方向性を策定します。

事業期間 16年度～18年度

事業内容 交通実態調査、データ整備

## 〈福井鉄道、えちぜん鉄道の活性化〉

### ⑧福井鉄道低床化補助事業（県民生活部）県民参加 75,504

低床車両への更新に対し、国、沿線3市とともに支援を行うことにより、福井鉄道の安全性、利便性の向上を図ります。

事業期間 17年度～18年度

補助率 LRV（超低床式路面電車）、ホーム切り下げ

（国1/4） 県14/36（市7/36 事業者1/6）

小型車両

（国1/3） 県10/27（市5/27 事業者1/9）

事業内容 小型軽量車両の導入

17年度 LRV2両・小型車両8両

18年度 小型車両10両

低床化に伴う17駅のホームの切り下げ

### ⑨福井鉄道・えちぜん鉄道相互乗り入れ支援事業（県民生活部） 8,085

交通結節機能の強化を図り、利便性向上による電車の利用促進を図るため、福井鉄道とえちぜん鉄道の相互乗り入れに向けた施設整備に助成します。

事業期間 17年度～18年度

事業内容 田原町駅等における鉄道施設の設計

### えちぜん鉄道高架化支援事業（県民生活部） 21,062

福井駅周辺の連続立体交差事業により高架化するえちぜん鉄道に対し、県と市町村の合意に基づき、高架化工事等にかかる事業者負担金の一部を補助します。

補助対象 福井駅高架施設の詳細設計、埋蔵文化財調査等に係る負担金

補助率 県2/3（市町村1/3 直接えちぜん鉄道へ補助）

## 〈嶺南地域の鉄道網の充実〉

### 敦賀・関西新快速直通化事業（県民生活部） 2,618,500

JR北陸線および湖西線における敦賀までの直流化工事についてJR西日本に助成し、関西方面からの新快速電車の直接乗り入れを可能にします。

事業期間 15年度～18年度

### ⑩直流化ネットワークにぎわいの駅支援事業（県民生活部）電源 49,606

敦賀までの直流化にあわせ嶺南地域の駅のにぎわいを創出するため、市町村が行う駅および駅周辺の整備に対し助成します。

事業期間 17年度～19年度

補助率 1/2

事業内容 JR小浜線若狭高浜駅の駅舎改築、駅前広場整備等

## 〈福井空港の利活用促進等〉

### 空港利活用推進事業（土木部）

3,396

「福井空港利活用推進計画」に基づき、チャーター便の試験運航等を行います。

事業期間 15年度～17年度

事業内容 コミューター便に向けた試験運航（片道2回）

観光チャーター便（片道1回）

エアポートセールス 等

### 空港振興委託事業（土木部）

5,455

福井空港に関する広報啓発活動を行うとともに、遊覧飛行の活性化を図ります。

事業内容 スカيفェスの開催

小型機の体験飛行会

◎遊覧飛行活性化事業（搭乗者1人当たり1,000円を遊覧飛行事業者に対し補助）

## 〈敦賀港、福井港の活性化〉

### ◎県内港湾貨物集荷推進事業（産業労働部）

チャレンジふくい

県民参加

13,756

敦賀港および福井港を利用して輸出入を行う企業に対して、貨物量に応じて助成することにより、両港の活性化を図ります。

事業期間 17年度～19年度

補助率 1/2（補助限度額 30万円）

## IV 元気な県政

### 9 新しい福井県政府の樹立

#### ◇フレンドシップ

〈市町村合併の自主的取組みを支援し、地域コミュニティの文化や機能を強化〉

予 算 額  
(単位：千円)

#### 市町村合併支援事業（総務部）

811,700

合併を行う市町村に対し、財政支援を行います。

市町村合併準備支援事業補助金

法定合併協議会が行う合併協議会経費に対し補助

補 助 率 10/10 （補助限度額 年500万円）

市町村合併電算システム等整備事業補助金

合併協議会構成市町村が行う電算システム等の整備事業に対し補助

補 助 率 2/3 （補助限度額 2,000万円）

市町村合併特別交付金

合併後の市町村建設計画に基づくまちづくり事業に対し支援

交 付 額 5億円＋（関係市町村数－2）×1億円

#### 〈災害ボランティア活動の推進〉

#### 災害ボランティア全国フォーラム開催事業（県民生活部）

1,665

福井豪雨での災害ボランティアの活動成果を全国に発信し、今後の活動に役立てるため  
全国フォーラムを開催します。

テ ー マ 「福井豪雨災害から1年を経て（仮題）」

#### ⑧災害ボランティア講師派遣事業（県民生活部）

県民参加

434

災害ボランティア活動の知識や経験が豊富な人を「災害ボランティア講師」に委嘱し、  
青少年団体、公民館、学校、企業等が行う研修会に講師として派遣することにより、災害  
ボランティア活動に対する県民の理解を深めます。

事業期間 17年度～19年度

派遣回数 年30回程度

#### ⑨災害ボランティア活動マニュアル作成事業（県民生活部）

県民参加

1,370

地震や水害などに対応できる災害ボランティア活動マニュアルを作成し、県内および全  
国で活用してもらうことにより、円滑な災害ボランティア活動を推進します。

事業内容 新潟県中越地震等のボランティア活動の状況調査

ボランティアセンターの設置・運営方法、ボランティアの活動内容や  
注意事項等をまとめたマニュアルの作成

### 災害ボランティア活動支援事業（県民生活部）

10,330

県内外で発生した災害に伴って県民が行う災害ボランティア活動に対し、ボランティア基金を活用し必要な活動経費を支援します。

事業内容 災害ボランティア活動経費の支援（ボランティアセンター設置、資機材購入、移動経費等）  
災害模擬訓練の実施  
福井県災害ボランティアセンター連絡会の開催

### 災害ボランティア活動推進事業（県民生活部）

1,478

今後の災害に対応するため、福井豪雨での災害ボランティア活動のノウハウを活かした研修会を開催し、県内および全国で活躍するボランティアを養成します。

事業期間 16年度～18年度  
事業内容 ブロック別研修会の開催（奥越、南越地区）  
リーダー塾の開催（全国のボランティア対象）

## ◇パートナーシップ

### 〈県民の県政参加の推進〉

#### ⑧ 住民参加型ミニ市場公募債の発行（総務部）

—

本県で初めて県民に対して公募する県債を発行し、県と県民のパートナーシップのもとで県政を進めます。

対象事業 県債購入という形で、県民が「ふるさとに誇りを持てる」地域づくりを進めていると感じる事業

発行予定額 17年度 約3億円（北陸新幹線建設促進事業）

◇ふくいブランドの創造

〈ふくいブランドの発信〉

地域ブランド創造活動推進事業（総務部） チャレンジふくい 51,055

地域のグループ等が、地域資源を組み合わせ、付加価値とストーリー性を高めながら、ビジネスとして継続可能な取組みを行い、全国レベルで情報発信していく活動に対して、支援していきます。

事業期間 16年度～19年度  
 事業主体 地域住民、経済団体等から構成される5グループ以内  
 補助率 1/2（補助限度額 1,000万円）

⑧ふくいブランド大使活動支援事業（総務部） チャレンジふくい 県民参加 12,604

県内外に「ふくいファン」を広げるために、大使間の交流・情報交換を進め、大使同士が連携した自発的PR活動を支援します。

事業内容 大使の募集・登録等  
 活動報告会の開催  
 会報誌、ホームページの作成  
 ふくいブランドアドバイザーの設置（東京、大阪）  
 自主的PR活動への支援  
 大使の登録状況 1,183名（17年1月31日現在）

⑨ふくいの情報発信強化事業（総務部） チャレンジふくい 4,108

本県の情報が首都圏・関西圏のマスコミ等を通じて全国により多く発信されるよう、情報収集・発信体制の整備を進めます。

事業内容 県外事務所職員等によるマスコミ訪問を頻繁に実施  
 東京事務所に情報発信専任職員を配置  
 電子メールを活用した県内関係機関からの情報収集  
 マスコミ関係者を集めた交流会の開催等

⑩第二の故郷ふくい定住促進事業—あなたの田舎に立候補します。—（総務部） チャレンジふくい 225

都市圏に居住する定年退職後の世代（アクティブシニア）等に、第二の故郷として本県での定住を促すため、県のホームページでの定住関係情報を充実するとともに、市町村の定住希望者受入れ機運を醸成します。

事業内容 「福井県Uターン情報センター」のホームページに定住関係情報を充実  
 定住を進めるための市内横断の勉強会の開催  
 先進地の関係者等を招いた市町村担当者勉強会の開催

コシヒカリのふるさと・福井全国発信事業（農林水産部） チャレンジふくい 1,000

全国の水稲作付け日本一であるコシヒカリの発祥の地である福井県を、「コシヒカリのふるさと」として全国に発信します。

事業内容 コシヒカリ系統品種の栽培展示  
田植え・刈取りの体験と食べくらべ  
「コシヒカリのふるさと・福井」のPR貢献者の表彰

農山村ふるさと活性化対策事業（農林水産部） チャレンジふくい 38,500

農山村地域の豊かな自然や農林水産物などの地域資源を有効に活かすため、地域の自主性、独創性に基づく振興施策を支援し、地域ブランドづくりを促進します。

事業期間 16年度～19年度  
事業主体 市町村、農業者団体等  
補助率 1/2

㊦ アニバーサリー(周年)を活用した情報発信研究事業（総務部） チャレンジふくい —

本県ゆかりの偉人や出来事の周年（没後、生誕等）を活用し、全国への情報発信や県民の誇りの醸成を図るための方策を庁内で研究します。

事業内容 継体天皇即位1500年（平成19年）に向けた記念事業の企画  
今後、岡倉天心や佐久間艇長等周年を迎える偉人や出来事に関する情報の収集整理、具体的な情報発信策を検討

〈「健康長寿ふくい」の推進〉

「健康長寿な福井」イメージ発信事業（総務部） チャレンジふくい 10,560

東京、大阪、名古屋などの三大都市圏等において「健康長寿な福井」の情報を発信し、本県の健康長寿イメージの定着を図ります。

事業内容 ポスターの作成とPR（電車内窓上の長期掲出など）

㊦ 県立大学健康長寿研究拠点化事業（総務部） チャレンジふくい 2,050

県立大学に「健康長寿研究推進機構（仮称）」を設置し、健康長寿に関する研究を組織的・横断的に推進するとともに、研究成果を積極的に発信します。

事業内容 健康長寿シンポジウム開催、健康長寿ブック（県立大学叢書）発行  
情報誌発行等

⑧健康長寿バイスクール事業（総務部） チャレンジふくい

1,510

安全快適なまちなか走行空間の整備と県民が自転車に親しめる環境づくりを進めるとともに、健康に優れた乗り物としての県民の自転車利用を促進します。

事業内容 ホームページ、広報による自転車利用の喚起  
健康長寿バイスクール大会の開催  
自転車利用促進のためのフォーラム（公開トーク）開催

<関連した事業による主な取組み>

安全快適なまちなか走行空間の整備

- ・段差や起伏、障害物のない通行しやすい歩道の整備（土木部・警察本部）
- ・路側帯の拡幅、事故防止のための道路表示の改善（土木部・警察本部）
- ・身近な生活道路での自転車、歩行者専用道路の検討（土木部・警察本部）
- ・レール&サイクルライド等の取組み（県民生活部）

自転車に親しめる環境の整備

- ・大規模自転車道の利用促進（土木部）
- ・河川敷・堤防など公共用地等の自転車道への活用（農林水産部・土木部）
- ・サイクリイベントの開催促進（各局）
- ・子供が安全に自転車を乗り回せる機会の増大（各局）
- ・他地域（石川県、北近畿）とのサイクルツーリズム交流（総務部・各局）

自転車利用の普及拡大

- ・市町村、関係団体等と連携した自転車利用普及のPR（総務部・各局）
- ・事業所等における自転車通勤の拡大（総務部・福祉環境部）
- ・自転車反射材貼付、「自転車ヒヤリマップ」作成（県民生活部）

## ◇ビジット“ふくい”の推進

### <観光地の活性化>

⑧観光地・民宿集積地域活性化支援モデル事業（産業労働部） チャレンジふくい 県民参加

120,253

観光地活性化プランを公募し、意欲的でかつ優れたプランを作成した地域団体等（2件程度）の取組みを支援します。

事業主体 市町村、地域の任意団体（市町村や事業者、住民等で組織する団体）  
補助率 4/10以内（補助限度額 6,000万円、補助期間3年間）

⑧観光プロデューサー設置事業（産業労働部） チャレンジふくい

10,790

民間の優秀な観光専門家を「観光プロデューサー」として（社）福井県観光連盟に配置し、新しい観光コースの開発や観光事業者への助言等を行い、本県への観光客の誘致拡大を図ります。

⑧観光デジタル画像配信事業（産業労働部） チャレンジふくい

18,000

本県の豊かな自然や景観、歴史、文化、伝統芸能などのデジタル画像を、広く一般の方にご利用いただくため、インターネットによる提供を開始します。



⑧ 観光土産品活性化支援事業（産業労働部） チャレンジふくい 7,885

本県の代表的土産品を開発・改良する土産品製造業者の取組み等を支援します。

事業内容 土産品の開発・改良に関する研究会の開催  
 土産品の開発・改良に対する助成（5件程度）  
 （補助率 1/2、補助限度額 50万円）  
 菓子土産品を全国にPRするイベントの開催

⑨ 「ビジットふくい」観光客誘致拡大事業（産業労働部） チャレンジふくい 50,000

県が推奨する観光地への観光客誘致拡大を図るため、旅行業者に対し送客の実績に応じて助成します。

平成17年度からは助成対象とする旅行業者数を拡大し、新しい旅行商品を数多く生み出していきます。

助成対象 県内で宿泊し、県内を主としたコースで、主要観光地または地域の魅力づくりに意欲的に取り組む観光地を2か所以上含む旅行商品

JRタイアップ観光客誘致事業（産業労働部） チャレンジふくい 12,500

JR西日本とタイアップして、新たな視点を取り入れた旅行商品を企画し、県外からの観光客の誘致を拡大します。

### 〈くつろぎ空間の創造〉

⑩ 産業活性化支援資金貸付金（国際観光基盤整備分）（産業労働部） チャレンジふくい 300,000

旅館業を営む中小企業者に対し、外国人観光客の受け入れに必要な設備更新等の資金を融資します。

貸付限度額 1億5,000万円  
 資金使途 設備資金および運転資金  
 融資期間 設備資金 10年以内（据置1年以内）  
                   運転資金 7年以内（据置1年以内）  
 保証料 1/2補給  
 貸付枠 7億5,000万円

### 〈観光の人づくり〉

観光ボランティアガイド「語り部」育成支援事業（産業労働部） チャレンジふくい 1,799

福井県観光ボランティアガイド連絡協議会が実施する「語り部」コンテストなど、「語り部」の資質向上や指導者育成を図る取組みを支援します。

⑪ 通訳ボランティアガイド育成事業（産業労働部） チャレンジふくい 県民参加 1,600

外国人観光客にきめこまかな観光情報を提供するため、通訳ボランティアガイドの研修会を開催します。

## 〈対象を絞ったアプローチ〉

「学びの旅」誘致事業（産業労働部） チャレンジふくい 県民参加 3,800

全国の小中学校、高校を対象に、修学旅行、宿泊学習、合宿等の誘致活動を展開し、旅行業者の誘致の実績に応じて、市町村とともに宿泊費の一部を助成します。

④東アジア観光客誘致促進事業（産業労働部） チャレンジふくい 15,986

東アジアからの観光客誘致を促進するため、(社)福井県観光連盟が行う中国、香港、台湾等からの旅行商品造成等の取組みに対し、助成します。

事業内容 旅行業者に対する本県への誘客数に応じた助成  
東アジアの政府観光局、旅行業者等へのPR  
福井県観光ホームページ「ふくいドットコム」の外国語ページ作成

## ◇公共施設等の利便性向上

### 〈公共施設の運営方法の改善〉

⑤旅券の日曜交付実施事業（総務部） 600

県民へのサービス向上のため、旅券の日曜交付を実施します。  
実施窓口 福井（国際交流会館）、若狭（若狭歴史民俗資料館）

### 〈県公共施設間にフレンドリーバスを巡回〉

フレンドリーバス運行事業（教育庁） 14,616

福井駅と県立図書館、生活学習館、福井市美術館を結ぶフレンドリーバスを運行し、児童・生徒等のために施設の利便性向上を図ります。

事業内容 図書館等の開館時間に合わせ、30分間隔で無料運行

### 〈交通の利便性の向上など、公共施設等を利用しやすくするためのソフト施策を充実〉

フレンドリーアート推進事業（教育庁） 3,970

嶺南地域から県立美術館や県立音楽堂での大規模な展覧会等に無料バスを運行するとともに、移動企画展を開催します。

事業内容 移動美術館を年3回開催  
恐竜博物館の移動企画展開催

## ◇環境保全

### 〈社会全体で環境を保全する政策を推進〉

#### ㊦ ツキノワグマ広域調査事業（福祉環境部） 14,116

最先端技術を活用しながら近県と連携してクマの行動、生息状況等に関する情報の収集・解析を行い、出没予測に基づいた確かな対策を講じることにより、クマによる人身被害を防止します。

事業期間 17年度～19年度

事業内容 GPS（衛星を活用した位置測定システム）を用いたクマの行動調査、  
ドングリ類調査、生息数調査、専門職員の養成等

#### ふくい環境力向上プロジェクト推進事業（福祉環境部） 3,627

子供たちが主役となって地域の環境をテーマに環境学習や環境保全実践活動に取り組むことにより、さまざまな主体の協働による継続的な環境活動を促進します。

事業期間 16年度～18年度

実施主体 環境保全団体、小中学校、こどもエコクラブ、子ども会等

事業内容 公募による環境学習モデル事業の実施  
ブロック懇談会・モデル事業推進会議、各団体の活動交流会の開催

#### 地球温暖化防止実践活動促進事業（地域活動支援事業）（福祉環境部） 3,500

家庭用省エネナビの普及など家庭から二酸化炭素排出量を効果的に削減するための地域ぐるみの取組みに助成し、地球温暖化防止に努めます。

事業期間 15年度～17年度

実施主体 市町村

補助率 1/2（補助限度額 50万円）

#### 環境マネジメントシステム構築支援事業（福祉環境部） 2,500

産業活動から生ずる二酸化炭素の排出量を減らすため、企業等における環境マネジメントシステムの構築等を支援します。

事業期間 15年度～17年度

事業内容 モデル事業所における環境自主行動計画の策定

ISO14001の認証を取得するための基礎講座の開催

#### 廃棄物処理施設整備事業（福祉環境部） 144,845

市町村等が行う廃棄物処理施設の整備に対して助成します。

実施主体 市町村、一部事務組合

補助率 国1/4、県1/20

対象施設 ごみ焼却施設 大野・勝山  
リサイクルプラザ 大野・勝山、南越  
埋立処分地施設 大野・勝山

敦賀市民間最終処分場抜本対策事業（福祉環境部） 499,330  
 処分場に係る抜本対策案の絞り込みに必要な詳細調査を行い、対策案の決定と基本設計を行います。

「プラ容器リサイクル3割達成」事業（福祉環境部） 9,425  
 プラスチック容器包装のリサイクル率3割達成を目指し、市町村における資源ごみ回収拠点の整備を支援します。  
 事業期間 16年度～18年度  
 事業内容 市町村が実施する資源ごみ回収拠点整備への助成  
 補助率 3/10

〈豊かな水環境の保全〉

⑧「ふくいのおいしい水」認定・発信事業（福祉環境部） チャレンジふくい 2,358  
 本県の水資源のブランド化を図るため、県内各地の名水を調査し、直接飲用可能な名水を「ふくいのおいしい水」として認定するとともに県内外へ情報発信します。  
 事業内容 県内各地の名水の水質検査  
 認定検討会の開催、認定基準の作成、「ふくいのおいしい水」の認定

⑨美しい三方五湖再生事業（部局連携：総務部・福祉環境部） チャレンジふくい 31,504  
 三方五湖の水質浄化の研究を行うとともに、地域住民主体の環境保全活動や誘客の促進を図ることにより、観光資源としての美しい三方五湖の再生を図ります。  
 事業内容 バイオ技術による水質浄化および湖沼の底質改善剤の研究  
 三方五湖環境保全委員会の開催、活動プランの作成  
 エコツーリズムの推進等による誘客の促進

地域をつなぐ河川環境づくり推進事業（土木部） 17,600  
 河川愛護団体等による河川の草刈活動に対して補助を行います。  
 事業期間 16年度～18年度  
 補助率 県1/3（市町村1/3、団体1/3）

〈太陽光発電量を5倍に〉

太陽光発電等住宅設備設置促進事業（土木部） 282,000  
 太陽光発電設備等の住宅への設置に対して補助を行い、環境に配慮した住宅の普及を図ります。  
 対象設備 太陽光発電設備、屋根融雪・雨水再利用設備 等  
 実施主体 市町村  
 補助率 太陽光発電設備 県1/6（市町村1/18）  
 その他 県1/9（市町村1/9）  
 （補助対象限度額 180万円）

## 〈低公害車の導入台数を10倍に〉

<b>低公害車導入促進事業（福祉環境部）</b>	18,378
通常車より価格が高い低公害車（ハイブリッド車、電気自動車、天然ガス車）の購入に対する助成を行い、環境にやさしい低公害車の普及を図ります。	
事業期間	15年度～18年度
補助率	市町村の補助額(原則として通常車両との価格差の1/4)の1/2以内 (ただし価格差の1/8を上限)

## ◇まちづくり

### 〈県都の活性化の推進〉

<b>⑧ JR福井駅観光情報発信事業（産業労働部）</b> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">チャレンジふくい</span>	1,366
平成17年4月に開業するJR福井駅のコンコース内プラズマテレビを活用して、画像や文字情報等で本県の観光地やイベントの情報を提供します。	
<b>チャレンジショップ形成支援モデル事業（産業労働部）</b> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">チャレンジふくい</span>	9,300
福井市中心市街地の空き店舗を活用したチャレンジショップ、コミュニティ施設の開設を支援し、新規開業や中心市街地の活性化を図ります。	
事業期間	15年度～17年度
実施主体	まちづくり福井（株）
補助率	チャレンジショップ 県1/2 コミュニティ施設 国1/3、県1/3

### 〈歴史、文化の香りただようまちづくりの推進〉

<b>⑨ 福井の伝統的民家普及促進事業（土木部）</b> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">チャレンジふくい</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">県民参加</span>	23,521
伝統的民家の普及促進の基本理念等を定めた条例の制定を検討するとともに、新築および改修に対し補助を行います。	
事業期間	17年度～19年度
補助率	新築 1/3（補助限度額80万円/戸） 改修 1/4以内かつ市町村補助額の1/2以内（補助限度額150万円/戸）
<b>一乗谷朝倉氏遺跡整備・活用推進事業（教育庁）</b> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">チャレンジふくい</span>	64,100
特別史跡一乗谷朝倉氏遺跡について、復原整備を促進するとともに、本県の観光振興とイメージアップに活用します。	
事業内容	遺跡の発掘調査、復原整備 遺跡案内人の充実等による誘客活動の実施

## 〈美しい街並み景観の創出〉

- ⑧あたたかい街路照明モデル事業（土木部）県民参加 電源 18,200  
電力移出県という本県の特徴を活かし、暖かみのある街路景観および夜間空間を創出するため、オレンジ色の道路照明灯を設置することとし、まず、平成17年度は福井市中心部において整備します。  
設置箇所 中央大通り、東大通り、九十九橋、御本丸大手町線
- ⑨福井の景観づくり推進事業（土木部）チャレンジふくい 県民参加 2,873  
美しい県土を形成する広域的な景観を保全、創出するため、「景観づくり検討会（仮称）」を開催し、景観計画を策定する市町村を支援します。

## 〈総合公園の整備〉

- ⑩丹南地域総合公園（仮称）整備事業（土木部） 60,000  
丹南地域において総合公園を整備します。  
事業期間 17年度～26年度  
整備場所 武生市氷坂町ほか  
事業内容 17年度 実施測量、丈量測量

## ◇安全・安心

### 〈安全・安心な県民生活の実現〉

- ⑪福井県国民保護計画推進事業（県民生活部） 5,241  
国民保護計画を審議する国民保護協議会を開催するとともに、武力攻撃事態に際し的確かつ迅速な国民の保護のための措置が実施できるよう、国と共同で図上訓練を実施します。
- ⑫山間集落安全対策緊急支援事業（農林水産部）県民参加 12,000  
集落近隣の過密林の間伐等を進め、山間集落を山地災害から守ります。  
事業期間 17年度～19年度  
補助率 県3/10 市町村3/10（森林所有者4/10）  
事業内容 間伐、整理伐、地表掻き起こし
- ⑬木造住宅耐震診断促進事業（土木部）県民参加 7,700  
木造住宅の耐震性向上を図るため、木造住宅耐震診断士を養成するとともに、耐震診断に対して補助を行います。  
事業期間 17年度～19年度  
補助対象 自己が所有する昭和56年5月以前に建設された木造住宅  
補助率（国4.5/10）県3/10（市町村1.5/10、本人1/10）  
（補助対象限度額3万円/件）

⑧小・中学校耐震化促進事業（教育庁）

56,700

耐震化の緊急度が高い小・中学校施設の耐震化率を今後5年間で100%にするために、他県に先駆けて、県単独で市町村による耐震診断と耐震工事に対して助成します。

事業内容 耐震診断への補助

事業期間 17年度～19年度

補助率 (国1/2) 県1/4 (市町村1/4)

補助対象限度額 170万円/棟

耐震工事への補助

事業期間 17年度～21年度

補助率 財政力指数0.5未満の市町村

(国6/12) 県1/12 (市町村5/12)

財政力指数0.5以上1.0未満の市町村

(国8/16) 県1/16 (市町村7/16)

補助対象限度額 2,400万円/棟

ため池緊急防災対策促進事業（農林水産部）

11,500

ため池の安全性等の調査を実施し、関係者への情報提供を行うことにより、防災体制の強化を図ります。

事業期間 16年度～17年度

事業内容 ため池の現地調査

ため池台帳の調製と情報の電子データ化

関係者への情報提供と啓発活動

⑧ため池防災情報提供事業（農林水産部）県民参加

4,300

ため池の災害危険度判定システムを導入し、豪雨や地震に関する防災情報を迅速に地域へ提供します。

事業期間 17年度～18年度

〈交通安全スロー・シグナル・シャイン（3S）運動〉

※スロー：安全速度の徹底 シグナル：信号の遵守と合図の励行 シャイン：反射シールで自分の存在をアピール

⑧交通安全スピードダウン運動事業（部局連携：県民生活部・警察本部）【スロー】

5,250

スピードの出し過ぎによる重大事故を防止するため、「スピードダウン宣言」に賛同してもらえらる県民を募り、全県的なスピードダウン運動を展開します。

事業内容 スピードダウン宣言ステッカーの配布、車への貼付（10万台）

⑧「ストップ・ザ・交差点事故」重点支援事業（部局連携：県民生活部・警察本部）  
【シグナル】

3,829

各市町村の交通指導員が、事故の多い交差点で朝夕の出勤時間帯に交通安全街頭活動を実施します。

<p>⑧「見せる」反射材普及活動事業（県民生活部）</p> <p>夜間の交通事故を防ぐため、量販店等多くの人が集まる場所においてバッグや靴、自転車等に反射シールを貼り付ける活動を行います。</p>	<p>【シャイン】</p> <p>4,227</p>
--	----------------------------

〈子どもの安全〉

<p>安心で明るい子どもの道整備事業（土木部）</p> <p>安心で明るい通学路を確保するため、歩道の新設、段差解消や交差点等における照明灯、歩行者用照明灯の整備を行います。</p> <p>事業内容 歩道新設 19箇所 歩道段差解消等 19箇所 歩行者照明灯 39箇所</p>	<p>300,000</p>
--	----------------

<p>⑧子ども安心3万人作戦（部局連携：県民生活部・教育庁・警察本部）<span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">県民参加</span></p> <p>登下校時の子どもの安全を確保するため、「110番の家」やPTA等3万人が連携し、通学路の要所に立ったり、巡回活動を行う等の見守り活動を全県で展開します。</p> <p>事業内容 全小学校区単位での子どもを見守る活動の実施 緊急時の子どもの保護、通報体制の強化（ガソリンスタンド等と協力） 小学校新入生に対する防犯ブザーの配布</p>	<p>34,500</p>
---	---------------

〈治安の回復〉

<p>「身近な知能犯罪」抑止事業（警察本部）<span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">県民参加</span></p> <p>「出前講座」の充実、戸別訪問による「一声作戦」等を展開するとともに、被疑者割り出しのための資機材の整備を行います。</p> <p>事業内容 注意喚起用の電話貼付シールの配付 地域警察官等によるチラシの配付 デジタル式防犯ビデオ検索装置の整備</p>	<p>2,979</p>
--	--------------

<p>⑧犯罪に強いまちづくり推進事業（警察本部）<span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">県民参加</span></p> <p>防犯設備士協会の加盟者を「防犯ドクター」として委嘱し、防犯モデル地域において警察と協働で住宅等の防犯設備診断を行います。</p>	<p>2,758</p>
--	--------------

<p>臨時交番相談員配置事業（警察本部）</p> <p>臨時交番相談員を交番に配置することにより、空き交番対策を強化するとともに、警察官の街頭パトロール活動の充実を図ります。</p> <p>配置数 38人 職務内容 各種相談・届出を受けた場合の警察官への連絡 等</p>	<p>37,620</p>
---	---------------

<p>来日外国人犯罪・広域組織犯罪対策事業（警察本部）</p> <p>国際捜査官等を育成するとともに、犯罪者に対処するための資機材を整備します。</p> <p>事業内容 語学研修（北京語） 耐刃防護衣の整備</p>	<p>4,746</p>
---	--------------



⑧ふくいマイタウン・パトロール隊育成・支援事業（部局連携：県民生活部・警察本部） 14,826  
県民参加

ふくいマイタウン・パトロール隊への加入および新規結成を促進するため、地域住民に自主防犯活動を実践体験してもらうとともに、活動に必要な物品を購入します。

〈防災体制の充実〉

⑧山村等防災情報強化対策事業（農林水産部） 22,500  
 山地災害対策事業を効率的に実施するため、山地災害危険地区の見直しを行い、県民に情報を提供します。

事業計画 17年度 山地災害地区の基準の策定および点検・見直し  
 18年度～ 土砂災害防止支援システム掲載による県民への情報提供

⑧洪水に強い排水機場整備事業（農林水産部） 39,370  
 県営造成排水機場の洪水による被害を解消し、公共施設や農地等の被害を防止するため、洪水防災機能診断と防災対策工事を行います。

事業期間 17年度～21年度

土砂災害防止支援システム整備事業（土木部） 60,000  
 市町村や住民に対し土砂災害警戒情報等を迅速に提供するため、土砂災害防止支援システムを構築し、県民の生命の安全を確保します。

事業期間 15年度～18年度

〈除雪体制の抜本的な改善〉

歩道除雪モデル事業（土木部） 43,000  
 冬期間において小学生等の歩行者の安全を確保するため、小学校周辺をモデル地区として県管理道路の歩道の除雪を行います。

除雪範囲 小学校を中心に半径500m内

雪寒道路整備事業（土木部） 616,000  
 主要な県管理道路において消雪パイプを整備します。

路線名 主要地方道福井丸岡線 他

◇文化

〈文化・スポーツ・生涯学習の振興〉

⑧ふくい漢字学習推進事業（教育庁）県民参加 7,450  
 本県出身の文化勲章受章者である白川静博士の業績の紹介等を通じて、本県の漢字学習の普及および推進を図ります。

事業内容 県立図書館内に「白川文字学の室（へや）」を設置  
 白川博士による講話を含む漢字学習講座の開催  
 親子漢字講座の開催

⑧県民スポーツ祭（仮称）開催事業（教育庁） 13,500  
 県民の誰もが気軽に参加できるスポーツ大会として、これまでの「県民体育大会」および「県スポーツ・レクリエーション祭」を統合し、県民スポーツ祭（仮称）を開催します。

恐竜博物館企画展開催事業（教育庁） 70,000  
 開館5周年を記念して、日本初公開となる始祖鳥の実物標本や世界的に注目されている羽毛恐竜など「恐竜と鳥」をテーマとした企画展を開催します。  
 企画展名 「大空にはばたいた恐竜たち展」（仮称）  
 開催期間 7月15日～11月3日

第20回国民文化祭・ふくい2005開催事業（教育庁） 1,218,000  
 「第20回国民文化祭・ふくい2005」を開催し、広く県民の文化活動への参加気運を高めるとともに、新たな地域文化の創造と振興を図ります。  
 開催期間 10月22日～11月3日  
 開催会場 県内全市町村  
 参加者数 約3万3千人  
 観客数 約80万人

◇ I T

⑧uーふくい推進指針（仮称）策定事業（総務部） 517  
 県IT推進アクションプラン（終期平成17年度）以後の県全体の情報化の方向性を定めるため、生活や行政サービスにおける利活用に重点を移した「uーふくい推進指針（仮称）」を策定します。  
 ※「u」はユビキタスの頭文字。「あらゆる所で」を意味する。

⑧福井県ホームページ「インターふくい」機能強化事業（総務部） チャレンジふくい 18,103  
 県の各種イベント等の情報を効率的かつ迅速に発信できるよう福井県ホームページの機能を強化するとともに、利用しやすい内容に改善します。  
 事業内容 報道発表資料の提供システム、イベント登録システムの導入  
 外国語ホームページの充実、キッズページの作成  
 視覚障害者の閲覧を容易にするための機能強化

⑧ブロードバンド整備支援モデル事業（総務部） チャレンジふくい 県民参加 15,000  
 現在ブロードバンド（高速大容量通信）が利用できない地域において、電気通信事業者が行うADSL整備に補助する市町村を支援します。  
 補助対象 交換局に設置するADSL設備、設置するための施設整備費  
 補助率 市町村が補助する額の1/2（補助限度額 500万円）  
 ※「ADSL」：電話回線を使って高速のインターネット環境を提供する技術・サービス

<p>⑧電子申請システム構築事業（総務部） <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">チャレンジふくい</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">県民参加</span></p> <p>県民が申請・届出等の手続きを24時間いつでもインターネットにより行うことができる電子申請システムを市町村と共同で整備します。</p> <p>事業計画 17年度 システム設計 18年度 システム構築 19年度 運用開始</p>	20,000
<p>地方税電子化推進事業（総務部）</p> <p>地方税の電子申告システムを導入するためのシステム機器整備等を行います。</p> <p>運用開始時期 18年1月 対象税目 法人県民税、法人事業税</p>	104,470
<p>⑨OSSシステム運営事業（総務部・警察本部）</p> <p>自動車税、車庫証明等自動車保有の諸手続きを、インターネットを通じてワンストップで行うことができる「OSSシステム」を本県に導入するため、全国協議会に対し運営費を負担します。</p> <p>運用開始時期 19年1月予定（新車・新規登録手続）</p>	7,158
<p>地域IT活動支援事業（総務部） <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">チャレンジふくい</span></p> <p>県民のIT利活用能力の向上を図るため、「地域パソコンマスター」を対象に交流会等を開催するとともに、「ふくいe-モニター」として県政に対する意見を電子メールで募集します。</p>	955
<p>ふくい産業IT高付加価値化支援事業（産業労働部） <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">チャレンジふくい</span></p> <p>今後の成長が期待されるデジタル映像産業や小規模なITベンチャーに対する支援を充実するとともに、中小企業の戦略的情報化を支援する体制を強化します。</p> <p>事業期間 15年度～17年度 実施主体 産業支援センター</p>	4,516

## 平成 17 年度当初予算案 (新世紀政策推進枠事業)

「福井元気宣言」のビジョン実現のため、15年度から18年度の4年間で、一般財源で200億円の新世紀政策推進枠事業を実施することとしています。

このうち17年度当初予算では、「農業の振興」や「観光誘客の促進（ビジットふくい）」などの課題に的確に対応するため、258事業、一般財源で約65億円を予算化します。

この結果、15年度および16年度の予算を合わせると、新世紀政策推進枠事業は359事業、一般財源総額で約150億円となります。

(単位：百万円)

予算区分	福井元気宣言の項目	事業数	予算額	一般財源
17年度 当初予算 (今回)	I 元気な産業	98	3,435	1,661
	II 元気な社会	73	5,281	2,580
	III 元気な県土	12	3,134	146
	IV 元気な県政	75	2,820	2,117
	計	258	14,670	6,504

15年度 16年度 予算分	I 元気な産業	92	11,769	2,495
	II 元気な社会	66	4,939	2,178
	III 元気な県土	18	7,307	1,405
	IV 元気な県政	76	3,612	2,439
	計	252	27,627	8,517
累 計	I 元気な産業	127	15,204	4,156
	II 元気な社会	93	10,220	4,758
	III 元気な県土	24	10,441	1,551
	IV 元気な県政	115	6,432	4,556
	計	359	42,297	15,021

※累計の事業数は、これまでの取組分252事業に、17年度当初予算の258事業のうち新規事業の107事業を加えたものです。

## 平成 17 年度当初予算案 (福井豪雨災害対策事業)

16年7月に発生した福井豪雨災害について、16年度に引き続き対策を行い、災害に強い県土づくりを推進します。

(単位：億円)

項 目	16年度 2月現計見込	17年度 当初予算	累 計
1 被害を受けた方々の生活・住宅支援	23	1	24
2 産業の再生	25	19	44
3 社会基盤の早期復旧	238	48	286
(1) 河川・道路・砂防施設等の復旧	196	35	231
(2) 農林水産施設の復旧	38	13	51
(3) その他の施設の復旧	4	0.2	4
4 再度災害の防止	154	134	288
(1) 激甚災害対策特別緊急事業	30	96	126
(2) 災害関連公共事業	123	38	161
(3) 災害対策の緊急調査等	1		1
5 救助活動等の実施・支援	3	0.4	3
合 計	443	202	645

---

---

# 災害に強い県土づくり

## ～ 16年7月福井豪雨災害対策 ～

### 1 被害を受けた方々の生活支援

#### (1) 生活再建のための支援

予 算 額  
(単位：千円)

##### 被災者住宅再建補助金

101,200

被災世帯に対し、住宅の改築、補修等に要する経費について補助します。

補助対象者 自ら居住する自己所有の住宅に被害を受けた方で、その住宅を補修し、または同一市町村内において住宅を新築、購入し、その住宅を所有する方

補助限度額 全壊世帯 400万円  
(改築、補修等300万円、家財道具等100万円)

半壊世帯 200万円  
(改築、補修等150万円、家財道具等50万円)

一部破損、床上浸水世帯 50万円(補修、家財道具等50万円)

補助率 県1/2 (市町村1/4、本人1/4)

申込期限 改築 17年度末  
補修、家財道具等 17年6月末(16年度末の期限を3か月延長)

※ 全壊・大規模半壊世帯における解体撤去、整地等の経費については、国の被災者生活再建支援金の支給を受けることができます。(補助限度額には、この支援金の支給額が含まれます。)

##### 被災者住宅再建資金無利子貸付事業

26,838

被災世帯が住宅の改築、補修等をする際に利用する貸付金について、5年間無利子とするため、利子補給をします。

貸付対象者 自ら居住する自己所有の住宅に被害を受けた方で、その住宅を補修し、または同一市町村内において住宅を新築、購入し、その住宅を所有する方

貸付限度額 全壊の場合 2,000万円  
半壊の場合 1,000万円  
一部破損、床上浸水の場合 300万円

申込期限 17年度末

---

---

## 2 産業の再生

### (1) 伝統的工芸品産地の再生支援

伝統的工芸品産地活性化緊急支援事業 20,000

大きな被害を受けた越前漆器産地の活性化を図るため、越前漆器の需要を拡大する取組みに対して支援を行います。

事業期間 16年度～17年度

実施主体 越前漆器協同組合

事業内容 企業に対する販売促進活動、国民文化祭等でのPR

補助額 16年度 2億3,000万円、17年度 2,000万円

## 3 社会基盤の早期復旧

### (1) 河川・道路・砂防施設等の復旧

河川等災害復旧事業（公共） 3,498,184

対象箇所 河川 32箇所

道路 11箇所

砂防等 33箇所

### (2) 農林水産施設の復旧

耕地災害復旧事業（公共） 385,090

対象箇所 農地等 787箇所

林道施設災害復旧事業（公共） 819,049

対象箇所 林道 161箇所

治山施設災害復旧事業（公共） 38,181

対象箇所 治山ダム等 7箇所

## 4 再度災害の防止

### (1) 激甚災害対策特別緊急事業

河川激甚災害対策特別緊急事業（公共） 5,600,000

浸水家屋数が2,000戸以上である等の激甚な災害が発生した河川について再度災害を防止するため、短期間で河川の大規模な改良を行います。

事業期間 16年度～20年度

対象箇所 足羽川（福井市日野川合流点～板垣橋付近）

事業内容 築堤復旧、堤防補強、河床掘削、低水護岸、橋梁架替等

事業延長 6,000m

---

---

⑧新砂防激甚災害対策特別緊急事業（公共） 3,300,000

激甚な災害が発生した地区の荒廃溪流について、再度災害を防止するため、緊急かつ集中的に砂防設備工事を行います。

事業期間 17年度～19年度  
対象箇所 50箇所  
事業内容 砂防堰堤等

⑨治山激甚災害対策特別緊急事業（公共） 664,650

激甚な災害が発生した林地について、再度災害を防止するため、緊急かつ集中的に復旧整備を行います。

事業期間 17年度～19年度  
対象箇所 29箇所  
事業内容 治山ダム等

造林事業（公共） 131,666

被災した作業路について整備を行います。

事業主体 森林組合等  
対象箇所 51路線407箇所  
補助率 国3/10 県2/10（森林組合等5/10）

## （2）災害関連公共事業

河川等災害関連事業（公共） 183,713

災害箇所を含めた一連区間の再度災害の防止のため、災害復旧と併せて河川および砂防の改良を行います。

事業期間 16年度～18年度  
対象箇所 河川 2箇所（三万谷川、一乗谷川）  
砂防 1箇所（金見谷川）

河川等災害復旧助成事業（公共） 3,399,433

災害箇所を含めた一連区間の再度災害の防止のため、災害復旧と併せて河川の大規模な改良を行います。

事業期間 16年度～20年度  
対象箇所 2箇所（足羽川、鞍谷川）

災害関連地域防災がけ崩れ対策事業補助金（公共） 33,370

激甚な災害によりがけ地に崩壊等が発生している箇所において、崩壊防止施設を設置する経費に対し補助します。

事業期間 16年度～18年度  
実施主体 市町村  
対象箇所 7箇所  
補助率 国1/2 県1/5（市町村3/10）



---

---

**災害関連農地整備等事業（公共）**

13,390

被災した集落において、農地保有合理化法人等による効率的な営農体制の確立を図るため、農地等の災害復旧と併せて行う区画整理に対し補助します。

事業期間 16年度～17年度

事業主体 市町村

対象箇所 2箇所

補助率 農地 国1/2 県1/10（市町村4/10）

施設等 国1/2（市町村1/2）

**山地危険箇所緊急対策事業（県単）**

30,000

山腹崩壊等が発生した危険箇所において、緊急的に対策工事を行います。

事業主体 県、市町村

対象箇所 27箇所

補助率 県1/2（市町村1/2）

---

---

## 平成17年度当初予算案 (職員提案型予算外事業)

県では、平成16年度から、政策推進マネジメントシステムに基づき、職員の日頃の仕事の業務改善を「BPR運動(ビジネス・プロセス・リエンジニアリング)」と位置づけ、全庁で様々な活動を行っています。

今回の予算編成では、こうした活動をさらに発展させ、既存の事業や施設の有効活用、将来の事業展開に向けた施策の企画立案など職員の創意工夫を凝らした特別な予算措置を伴わない事業を積極的に推進していくこととしました。

	予 算 額 (単位：千円)
⑧県立図書館サービス向上事業(教育庁) (再掲) P6	1,330
⑨ユニバーサル・デザインのまちづくり推進事業(福祉環境部) (再掲) P35	—
⑩第二の故郷ふくい定住促進事業—あなたの田舎に立候補します。—(総務部) <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">チャレンジふくい</span> (再掲) P43	225
⑪アニバーサリー(周年)を活用した情報発信研究事業(総務部) <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">チャレンジふくい</span> (再掲) P44	—
⑫健康長寿バイスクール事業(総務部) <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">チャレンジふくい</span> (再掲) P45	1,510